

Artics

4 入力ハード ディスク レコーダ

ADR-442 NTSC

取扱説明書



準備する	6
カメラの映像を見る(ライブ モード)	12
録画する	16
再生する(再生モード)	22
設定画面の詳細説明	28
ハード ディスクの交換方法	39
製品仕様	41

電源スイッチを切るときのご注意

ADR-442 の電源スイッチを切る場合は、ハード ディスク保護のため、かならず次の手順にておこなってください。

1. 右下の録画開始ボタン LED(赤)が消灯していることを確認

点灯している場合は、①録画停止ボタンを2秒以上押し、消灯してください。

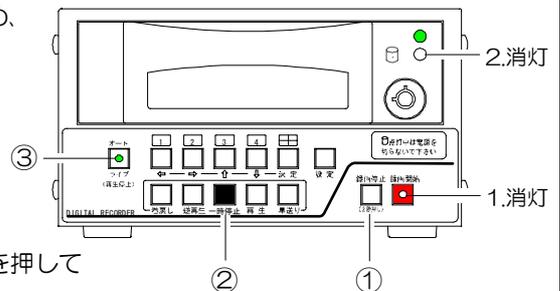
次に②一時停止ボタンを押してから③ライブ(再生停止)ボタンを押してライブ(再生停止)ボタン LED(緑)を点灯させてください。

2. 右上のハード ディスク アクセス表示 LED(赤)が消灯していることを確認

点灯している場合は、もう一度 1.に戻って確認をおこなってください。

3. 電源スイッチ(背面)を切る

* 1.2.が点灯した状態で電源スイッチを切るとハード ディスクの損傷の原因になりますので、かならずお守りください。



1日1回は録画状態をご確認ください

連続して録画をおこなう場合は、1日1回は右上のハード ディスク アクセス表示 LED(赤)が点滅しており、録画動作が正しくおこなわれていることをご確認ください。万が一 LED が点滅していなかったり、モニタ画面上に“ライト エラー”等のメッセージが表示されている場合は、販売店にご相談ください。

ごあいさつ

このたびは 4 入力ハード ディスク レコーダ ADR-442 をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
正しくご使用いただくために、かならずこの取扱説明書をお読みにになり、末永くご愛用くださいますようお願い申し上げます。
お読みになったあとは、後日お役に立つこともありますので、お使いになる方がいつでも見られるところに、かならず保管してください。

※本取扱説明書記載の内容につきましては、改良その他の理由によりお断りなく変更する場合がございます。

2005.8.29 現在

概要

本機は、4 チャンネル フレーム スイッチャ機能を内蔵したデジタル タイム ラプス録画装置です。
CCTV カラー カメラ 4 台の映像を自動的に切換え、内蔵のハード ディスクにデジタル録画することができます。さらに、カメラ映像を単画面、分割画面に表示でき、監視しながらタイム ラプス録画をおこなえます。

目次

ADR-442 の特長	1	カメラの映像を見る(ライブ モード)	12		
安全上のご注意	2	■ライブ モードの確認方法	12		
各部の名称とはたらき	4	■単画面表示	12		
■前面部	4	■分割画面表示	12		
■背面部	5	■自動切換え(オート シーケンス)	13		
■画面表示	5	●自動切換えの設定	13		
準備する	6	●特定のチャンネルのスキップ	13		
■注意書きシールの貼り付け	6	●自動切換え時間の設定	13		
■お客さまに準備していただくもの	6	■アラーム入力	13		
■接続例	7	■カメラ番号表示	14		
■リモート/アラーム信号入力端子の接続	7	●カメラ番号パターン	14		
■電源スイッチ 入	8	●単画面に表示	14		
■電源スイッチ 切	8	■ボタン ロック機能	15	●ロック方法	15
■TV カメラ台数による設定	9	■録画の方法	16	■連続録画	17
■上書きの設定	10				
■日付・時刻の設定	11				

■ハード ディスク容量と対処方法.....	19	4.録画.....	34
●ファイル フルとデータ フル.....	19	4-1.CH.01.....	34
●空き容量の確認.....	20	4-2.CH.02.....	34
●上書き録画の設定.....	20	4-3.CH.03.....	34
●ハード ディスク フォーマット.....	21	4-4.CH.04.....	34
■音声録音について.....	21	4-5.画質.....	34
再生する(再生モード).....	22	4-6.録画枚数.....	34
■再生方法の種類と確認方法.....	22	4-7.上書き.....	34
■ダイレクト再生.....	22	4-8.区切り.....	35
■日時検索再生.....	22	5.アラーム.....	35
■履歴検索再生.....	23	5-1.入力接点.....	35
■アラーム オート検索.....	24	5-2.保持時間.....	35
■再生モード時の各種操作.....	25	5-3.解除後動作.....	35
●再生動作の種類.....	25	6.動き検出.....	36
●ボタン機能一覧表.....	25	6-1.CH.01.....	36
●再生チャンネルの切り換え方法.....	26	6-2.CH.02.....	36
●再生モードからライブ モードへの戻りかた.....	26	6-3.CH.03.....	36
■同時録画再生.....	27	6-4.CH.04.....	36
設定画面の詳細説明.....	28	7.その他.....	36
■設定画面の操作方法.....	28	7-1.端子台.....	36
■設定画面.....	29	7-2.分割モード.....	37
1.検索.....	29	7-3.HDD 残量.....	37
1-1.日時検索.....	29	7-4.ファイル数.....	37
1-2.アラーム履歴.....	29	7-5.アラーム数.....	37
1-3.ファイル履歴.....	30	7-6.使用日数.....	37
2.日付・時刻.....	31	7-7.停電回数.....	37
2-1.30 秒補正.....	31	7-8.ハード ディスク フォーマット.....	37
2-2.日時設定.....	31	メッセージ一覧表.....	38
2-3.表示範囲.....	31	ハード ディスクの交換方法.....	39
2-4.単画面に表示.....	31	■空き容量の確認.....	39
2-5.分割画面に表示.....	32	■交換方法.....	39
3.画面表示.....	32	■ハード ディスクの録画時間の目安.....	40
3-1.CH.01.....	32	製品仕様.....	41
3-2.CH.02.....	32	故障かなと思う前に.....	42
3-3.CH.03.....	32	品質保証規定.....	42
3-4.CH.04.....	32	おことわり.....	43
3-5.自動切り換え時間.....	32	索引.....	44
3-6.カメラ番号.....	32		
3-7.単画面に表示.....	33		
3-8.分割画面に表示.....	33		

ADR-442 の特長

特 長	参照ページ
<p>設置や設定が簡単 底面は B5 サイズで録画機能とフレーム スイッチャ機能が内蔵されています。 省スペースで、設置や設定が簡単におこなえます。</p>	 <p>7 ページ</p>
<p>日本語の本体表記と設定画面 フロント ボタンおよび背面接続部表記のほとんどが日本語です。操作の間違いが少ないよう、ボタンの色も工夫されています。</p> <p>設定画面や操作中のメッセージもほとんどが日本語で表記されていますので、操作方法が感覚的に理解できます。</p>	<div data-bbox="959 562 1251 808" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">設定</p> <p>▷ 1. 検索 2. 日付・時刻 3. 画面表示 4. 録画 5. アラーム 6. 動き検出 7. その他</p> </div> <p>4 ページ 28 ページ</p>
<p>高速検索 再生したい映像を日時入力・アラーム履歴・録画ファイル履歴などにより、高速で簡単に検索できます。</p>	<p>22 ページ 24 ページ</p>
<p>ハード ディスク脱着機能 ハード ディスク ユニットの簡単脱着ができますので、保存や故障の際の交換などが簡単にできます。</p>	<p>39 ページ</p>
<p>音声出力録音機能 ライブ モードの音声を出力することができます。また録音できますので、映像と音声により確認することができます。</p>	<p>15 ページ 21 ページ</p>
<p>ハード ディスク残量表示機能 ハード ディスクの空き容量を%表示したり、記録されているファイル数を表示したりします。</p>	<p>20 ページ</p>
<p>同時録画再生機能 録画中に録画中のファイルまたは他ファイルの再生をおこなえます。</p>	<p>27 ページ</p>
<p>フレーム スイッチャ録画機能 1~4 カメラ入力の映像を順次切換え録画し、録画された映像を単画面および4 分割画面に再生表示できます。特定のカメラ入力を OFF することもできます。</p>	<p>34 ページ</p>
<p>モニタ映像の自動切換え(オート シーケンス)機能 1~4 カメラ入力のライブ映像を、自動的に切換え表示することができます。</p>	<p>13 ページ</p>
<p>カメラ番号表示機能 ライブ モードおよび再生モード時の単画面や分割画面に、各カメラ入力の番号を表示/非表示できます。</p>	<p>14 ページ</p>
<p>日付・時計表示機能 ライブ モードおよび再生モード時の単画面や分割画面に、年,月,日,時,分,秒の日時を表示/非表示できます。</p>	<p>11 ページ</p>
<p>動き検出機能 各カメラ入力に動き検出機能を内蔵していますので、特定の変化があったときにアラームを入力することができます。</p>	<p>18 ページ</p>
<p>外部センサ入力機能 信号入力端子を備えておりますので、センサなどを接続してアラーム入力したり、リモート操作をおこなうことができます。</p>	<p>19 ページ</p>
<p>ボタン ロック機能 ライブ モード時の前面ボタン操作およびレコーダ操作をロックできます。</p>	<p>15 ページ</p>
<p>レジューム機能 電源を切ったときの表示チャンネルおよび設定を記憶し、次の電源立上げ時、同じチャンネル表示および動作をおこないます。(ライブ モードに限ります)</p>	<p>8 ページ</p>

安全上のご注意

感電や火災を防ぐためにかねらずお守りください

本製品は電気用品安全法に基づき製造されております。



安全に正しくお使いいただくために、この「安全上のご注意」をよくお読みください。

■絵表示について

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

	警告 この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	注意 この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■絵表示の例

	△記号は注意(危険・警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容(左図の場合は感電注意)が描かれています。
	⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。
	●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け)が描かれています。

	警告
● 本機のケース・裏パネル等はずさない! 内部には高圧の部分があり、感電の原因となります。 ・改造などは絶対におこなわないでください。 ・内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。	
● 本機を濡らさない! 火災・感電の原因となります。 ・雨天・降雪中・海岸・水辺での使用は特にご注意ください。 ・風呂・シャワー室などの水場では使用しないでください。 ・本機の上に水などの入った容器を置かないでください。 ・万一水などが中に入ったときには、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご相談ください。	
● 本機の開口部から金属物や燃えやすいものなどの異物を差し込まない! 万一異物が入ったときには、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご相談ください。 そのまま使用すると火災・感電の原因となります。	
● ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない! 感電の原因となることがあります。	
● 電源プラグやコンセントにほこりなどを付着させない! ほこりによりショートや発熱が起こって火災の原因となります。湿度の高い部屋、結露しやすいところ、台所やほこりがたまりやすい場所のコンセントを使っている場合は、特に注意してください。	
● 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない! コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。かならずプラグを持って抜いてください。	
● 雷が鳴り出したら使わない! 電源プラグや接続ケーブルには絶対に触れないでください。感電の原因となります。	
● アース線を接地する 感電を避けるためにかねらず接地をしてください。アース線は絶対にガス管に接続しないでください。 爆発や火災の原因となります。	

安全上のご注意

感電や火災を防ぐためにならざるお守りください



警告

●電源電圧 100~120V 以外の電圧で使用しない！ 火災・感電の原因となります。	
●煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態の場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグを抜く！ そのまま使用すると火災・感電の原因となります。煙が出なくなるのを確認して、販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。	
●本機が故障した場合、落としたりケースが破損した場合は、電源スイッチを切り、電源プラグを抜く！ そのまま使用すると火災・感電の原因となります。販売店に修理をご依頼ください。	
●移動させる場合は、かならず電源スイッチを切り、プラグを抜き、機器間の接続ケーブルをはずす！ コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。	
●長期間使用しないときは、安全のためかならず電源プラグをコンセントから抜く！ 火災の原因となることがあります。	



注意

●本機の上に重いものを置かない！ バランスがくずれて倒れたり落下してけがの原因となることがあります。 また、重みによって故障の原因となることがあります。	
●コード類は正しく配線する！ ・電源コードを熱器具に近づけないでください。 ・電源コードを本機の下敷きにしないでください。 ・足などにケーブルを引っかけると機器の落下や転倒などにより、けがの原因となることがあります。	
●設置場所にご注意ください！ ・不安定な場所に置かないでください。 ・磁気を発生する機器の近くに置かないでください。 ・直射日光のあたるところや熱器具の近くに置かないでください。 ・冷凍倉庫や外気にさらされるなど、温度変化の激しいところには置かないでください。 ・振動や衝撃の加わるところには置かないでください。 ・腐食性ガスのあたるところには置かないでください。 ・調理台や加湿器のそばなど、油煙や湿気があたるところには置かないでください。	
●本機の通風孔をふさがない！ 通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。 壁から 10cm 以上離して設置してください。また、次のような使いかたはしないでください。 ・本機を仰向けや横倒し、逆さまにする。 ・風通しの悪い狭い所に押し込む。 ・じゅうたんや布団の上に置く。 ・テーブルクロスなどをかける。	

安全上のご注意

感電や火災を防ぐためにかねらずお守りください

■定期点検とお手入れについて

※お手入れの際は安全のため、電源スイッチを切り、電源コードのプラグを抜いてからおこなってください。



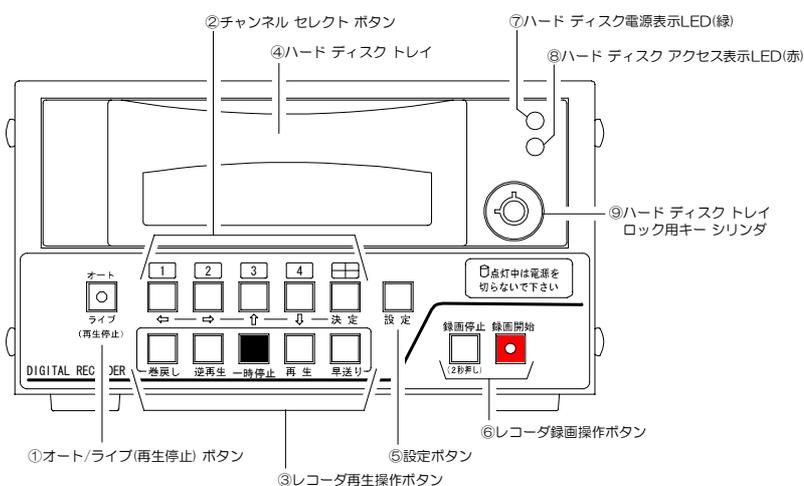
注意

- 電源コードが傷んだ(芯線の露出・断線など)場合は交換を依頼する!
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。販売店に交換をご依頼ください。
- 内部の掃除について
内部の掃除については、お買い上げの販売店にご相談ください。
機器の内部にほこりがたまったまま長い間掃除をしないと、火災・故障の原因となることがあります。
- 電源プラグの掃除をしてください
電源プラグを長時間差し込んだままにしておくと、差し込み部分にほこりがたまり、火災の原因となることがあります。
年に一度くらいは、プラグを抜いてほこりを取ってください。
- カバーは乾いた布で拭いてください
汚れがひどいときは、うすめの中性洗剤液を浸しよく絞った布で拭き取ってから、から拭きしてください。
このとき、液が内部に入らないように注意してください。
ベンジン、シンナー、アルコールなどの液体クリーナーやスプレー式クリーナーは使用しないでください。

各部の名称とはたらき

■前面部

- ①オート ボタン
カメラ映像を自動切換え動作にします。
ライブ(再生停止)ボタン
再生を停止してライブ モードに切換えます。
ライブ モード時は緑色 LED が点灯します。
- ②チャンネル セレクト ボタン
ライブ モードや再生モードにおいて、単画面(1~4)や分割画面の表示を切換えます。1~4 ボタンは背面部のカメラ入力 1~4 に対応しています。
←, →, ↑, ↓, 決定ボタン
設定画面の表示中に、カーソルの移動や値の変更、決定をおこなったりします。
- ③レコーダ再生操作ボタン
再生モードにおいて巻戻し/逆再生/一時停止/再生/早送り等の操作をおこないます。
- ④ハード ディスク トレイ
ハード ディスク脱着ケースです。脱着する際には、電源スイッチを切ってからじゅんぶん時間に時間をあけてください。
- ⑤設定ボタン
設定画面を表示したり、ひとつ前の設定画面に戻ったりします。
- ⑥レコーダ録画操作ボタン
録画開始ボタン
録画を開始し、録画中は赤色 LED が点灯します。録画中にアラーム入力があると赤色 LED は点滅します。LED 点灯および点滅中は電源スイッチを切ったり、ハード ディスクの脱着を絶対におこなわないでください。
録画停止ボタン
録画を停止します。2 秒以上押してください。



- ⑦ハード ディスク 電源表示 LED(緑)
電源スイッチが入の時に点灯します。点灯中はハード ディスクの脱着を絶対におこなわないでください。
- ⑧ハード ディスク アクセス表示 LED(赤)
ハード ディスクにデータを記録したり、読みだしているときに点滅します。LED 点滅中は電源スイッチを切ったり、ハード ディスクの脱着を絶対におこなわないでください。
- ⑨ハードディスクトレイロック用キーシールド
ハード ディスクを脱着する際の鍵の開閉をおこないます。

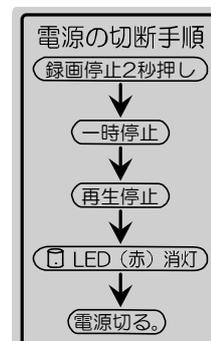
準備する

準備する

- 注意書きシールの貼り付け.....6
- お客さまに準備していただくもの.....6
- 接続例.....7
- リモート/アラーム信号入力端子の接続.....7
- 電源スイッチ 入.....8
 - 工場出荷時設定に戻すには.....8
- 電源スイッチ 切.....8
 - レジューム機能について.....8
- TVカメラ台数による設定.....9
 - 表示チャンネルの設定.....9
 - 録画チャンネルの設定.....10
- 上書きの設定.....10
- 日付・時刻の設定.....11
 - 日付・時刻の調整.....11
 - 日付・時刻の表示設定.....11

■注意書きシールの貼り付け

付属の注意書きシール「電源の切断手順」を、ADR-442 本体表面などの最も目立つ場所に貼ってください。



■お客さまに準備していただくもの

☐ 欄	機 器	補 足
☐	TVカメラ	4台まで接続できます
☐	カラー テレビまたはカラー モニタ	ビデオ入力端子のあるもの
☐	ビデオ ケーブル	ADR-442 側:BNC 端子用 TVカメラの台数分およびモニタの台数分
☐	マイク	音声出力・録音をおこなう場合のみ
☐	マイク アンプ	音声出力・録音をおこなう場合のみ
☐	オーディオ ケーブル	音声出力・録音をおこなう場合のみ ADR-442 側:ピン プラグ用 2本(入出力用)

準備する

■電源スイッチ 入

各種接続が、しっかりおこなわれているかを確認してください。

AC 入力ケーブルをコンセントにつなぎ、電源スイッチを入れてください。

電源スイッチを入れてからハード ディスクの内容確認やハードウェアのチェックのため、約 30 秒間はボタンの操作をおこなえません。右図の文字が消え、モニタに映像が正しく表示されていることが確認できたら電源立上げは完了です。

```
HARD DISK RECORDER
ADR-442
PROGRAM VERSION *.*
+++++□□□□□□
HDD FILE DATA READ
HDD RESIDUAL 99.9%
```

●工場出荷時設定に戻すには…

設定ボタンを押しながら電源スイッチを入れると、画面左上部に“DEFAULT SET”の文字が点滅し、各種設定が工場出荷時設定に戻ります。

同梱のクイック ガイド 4 ページ **設定項目一覧**もご参照ください。



注意 ●録画ファイルは、初期化をしても消去されません。録画ファイルおよびアラーム履歴の一括消去は 21 ページ ●ハード ディスク フォーマットをご参照ください。

■電源スイッチ 切

録画開始ボタン LED(赤)とハード ディスク アクセス表示 LED(赤)が消灯していることを確認してから、電源スイッチを切ってください。(下図参照)

またハード ディスク トレイの脱着や、電源スイッチ入操作は電源スイッチを切った後 1 分以上たってからおこなってください。ハード ディスク電源表示 LED(緑)やアクセス表示 LED(赤)が点灯または点滅している状態では、ハード ディスク トレイの脱着を絶対におこなわないでください。

電源スイッチを切るときのご注意

ADR-442 の電源スイッチを切る場合は、ハード ディスク保護のため、かならず次の手順にておこなってください。

1. 右下の録画開始ボタン LED(赤)が消灯していることを確認

点灯している場合は、①録画開始ボタンを 2 秒以上押し続けて消灯してください。

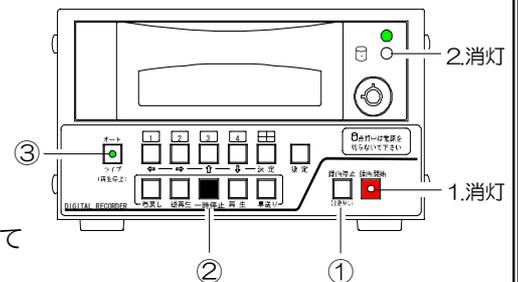
次に②一時停止ボタンを押してから③ライブ(再生停止)ボタンを押してライブ(再生停止)ボタン LED(緑)を点灯させてください。

2. 右上のハード ディスク アクセス表示 LED(赤)が消灯していることを確認

点灯している場合は、もう一度 1. に戻って確認をおこなってください。

3. 電源スイッチ(背面)を切る

*1,2. が点灯した状態で電源スイッチを切るとハード ディスクの損傷の原因になりますので、かならずお守りください。



●レジューム機能について

ADR-442 は電源スイッチを切ったときの表示チャンネルおよび設定などの動作を記憶し、次の電源立上げ時、同じ表示チャンネルおよび動作をおこないます。(ライブ モードに限ります)

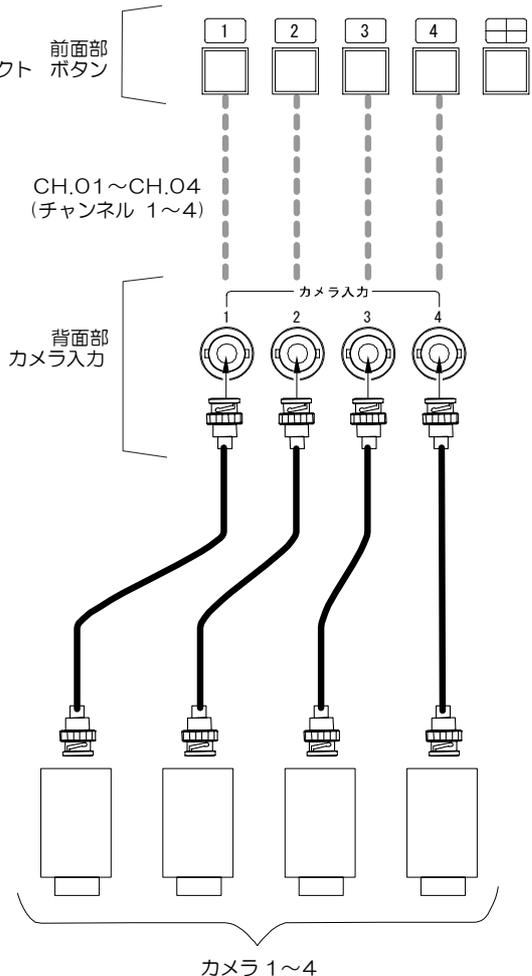
準備する

■ TV カメラ台数による設定

TV カメラを 3 台以下でご使用になる場合は、かならずカメラ入力 1 から接続してください。

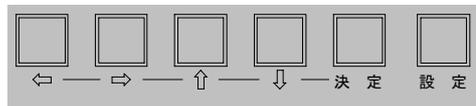
設定画面ではカメラ入力 1~4 はそれぞれ“CH. 01”~“CH. 04”と表記されています。本取扱説明書でもカメラ入力 1~4 を“チャンネル 1~4”と表記する場合があります。

工場出荷時設定では表示チャンネルおよび録画チャンネルはすべて“ON”に設定されています。カメラ入力のないチャンネルがある場合は、表示チャンネルおよび録画チャンネルを以下の方法で“OFF”に設定してください。



● 表示チャンネルの設定

ライブモードのチャンネル毎に、表示/非表示を設定します。非表示に設定されたチャンネルはカメラ入力の映像とカメラ番号の表示をおこないません。



- ① ライブモード時に設定ボタンを押して設定画面を表示させます。↑, ↓ボタンでカーソル▷を“3. 画面表示”に合わせ、決定ボタンを押して“画面表示”画面を表示させます。

設定

1. 検索
2. 日付・時刻
- ▷ 3. 画面表示
4. 録画
5. アラーム
6. 動き検出
7. その他

- ② ↑, ↓ボタンでカーソル▷をカメラ入力のないチャンネルに合わせ、決定ボタンを押すと値が点滅します。
- ③ ↑, ↓ボタンで値を“OFF”にし、決定ボタンを押します。

値	動作
ON	映像・カメラ番号を表示する
OFF	映像・カメラ番号を表示しない

工場出荷時設定:全チャンネル ON

他のカメラ入力のないチャンネルについても②③を繰り返します。

※すべてのチャンネルを OFF に設定することはできません。

画面表示

1. CH. 01-----ON
2. CH. 02-----ON
- ▷ 3. CH. 03-----OFF
4. CH. 04-----ON
5. 自動切換え時間----003
6. カメラ番号-----01~04
7. 単画面に表示-----ON
8. 分割画面に表示----OFF
9. 戻る

- ④ 設定ボタンを押すと設定画面に戻ります。

準備する

●録画チャンネルの設定

チャンネル毎に録画する/しないを設定します。

- ① 設定画面において、 \uparrow , \downarrow ボタンでカーソル \triangleright を“4. 録画”に合わせ、決定ボタンを押し“録画”画面を表示させます。

- ② \uparrow , \downarrow ボタンでカーソル \triangleright をカメラ入力のないチャンネルに合わせ、決定ボタンを押すと値が点滅します。

- ③ \uparrow , \downarrow ボタンで値を“OFF”にし、決定ボタンを押します。

値	動作
ON	録画する
OFF	録画しない

工場出荷時設定:全チャンネル ON

他のカメラ入力のないチャンネルについても②③を繰り返します。

- ④ 設定ボタンを押すと設定画面に戻ります。

設定

1. 検索
2. 日付・時刻
3. 画面表示
- \triangleright 4. 録画
5. アラーム
6. 動き検出
7. その他

録画 約135時間

1. CH. 01 ----- ON
2. CH. 02 ----- ON
- \triangleright 3. CH. 03 ----- OFF
4. CH. 04 ----- ON
5. 画質 ----- 中
6. 録画枚数 ----- 10枚/秒
7. 上書き ----- YES
8. 区切り ----- 12時間
9. 戻る

■上書きの設定

工場出荷時設定ではハードディスクが録画ファイルでいっぱいになったとき、古いファイルから順次“上書きする”設定になっています。“上書き禁止”に設定してファイルを消去しないようにしたい場合は、以下の方法で設定をおこなってください。

- ① 設定ボタンを押して設定画面を表示させます。

- ② \uparrow , \downarrow ボタンでカーソル \triangleright を“4. 録画”に合わせ、決定ボタンを押し“録画”画面を表示させます。

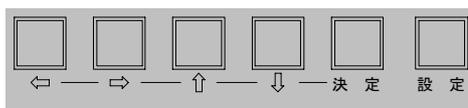
- ③ \uparrow , \downarrow ボタンでカーソル \triangleright を“7. 上書き”に合わせ、決定ボタンを押すと値が点滅します。

- ④ \uparrow , \downarrow ボタンで値を“NO”にし、決定ボタンを押すと設定が確定します。

値	動作
YES	上書きする
NO	上書き禁止

工場出荷時設定: YES

- ⑤ 設定ボタンを押すと設定画面に戻ります。



設定

1. 検索
2. 日付・時刻
3. 画面表示
- \triangleright 4. 録画
5. アラーム
6. 動き検出
7. その他

録画 約135時間

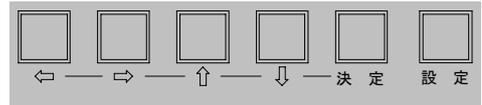
1. CH. 01 ----- ON
2. CH. 02 ----- ON
3. CH. 03 ----- ON
4. CH. 04 ----- ON
5. 画質 ----- 中
6. 録画枚数 ----- 10枚/秒
- \triangleright 7. 上書き ----- NO
8. 区切り ----- 12時間
9. 戻る

注意 ● 上書き時のデータ消去はファイル単位なので、連続で長時間録画している場合には、消去される範囲も多くなります。

準備する

■ 日付・時刻の設定

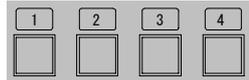
日付・時刻の調整や表示の設定をおこないます。
設定が必要な場合は、設定ボタンを押して設定画面を表示させ、 \uparrow 、 \downarrow ボタンでカーソル \triangleright を“2. 日付・時刻”に合わせ、決定ボタンを押して“日付・時刻”画面を表示させ、以下の設定をおこないます。



設定画面を表示させなくても、ライブモード中に時刻の30秒補正をおこなうことができます。

$\boxed{4}$ ボタンを押しながら、 $\boxed{1}$ ボタンを押すと、時刻の秒の値が00~29の時は00となり、秒の値が30~59の時は1分進んで00となります。

ただし、録画中はこの操作はおこなえません。



設定

1. 検索
- \triangleright 2. 日付・時刻
3. 画面表示
4. 録画
5. アラーム
6. 動き検出
7. その他

● 日付・時刻の調整

画面中央上部に表示されている日付および時刻をご確認ください。工場出荷時設定では、内蔵の時計により現在の日時に設定されています。

万が一ずれている場合は、以下の手順で調整をおこなってください。

- ① \uparrow 、 \downarrow ボタンでカーソル \triangleright を“2. 日時設定”に合わせ、決定ボタンを押すと、年の値から点滅します。

- ② \leftarrow 、 \rightarrow ボタンで点滅を移動させ、 \uparrow 、 \downarrow ボタンで値を変更し、現在の日時に合わせます。

- ③ 決定ボタンを押すと日時が確定されます。

- ④ ここで設定を終了する場合は、設定ボタンを押すと設定画面に戻ります。

日付・時刻

1. 30秒補正
- \triangleright 2. 日時設定
04年07月12日
15時25分37秒
3. 表示範囲-----年月日時分秒
4. 単画面に表示-----ON
5. 分割画面に表示----ON
6. 戻る

- \triangleright 2. 日時設定
04年07月12日
15時25分37秒

● 日付・時刻の表示設定

工場出荷時設定では年月日時分秒が表示されています。この表示範囲は変更することができます。

- ① \uparrow 、 \downarrow ボタンでカーソル \triangleright を“3. 表示範囲”に合わせ、決定ボタンを押すと値が点滅します。

\triangleright 3. 表示範囲-----年月日時分秒 <

- ② \uparrow 、 \downarrow ボタンで値を変更し、決定ボタンを押すと表示範囲が確定されます。

値	表示例
年月日時分秒	04. 07. 12 15:25:37
年月日時分	04. 07. 12 15:25
年月日	04. 07. 12
月日時分秒	07. 12 15:25:37
月日時分	07. 12 15:25
月日	07. 12
時分秒	15:25:37
時分	15:25

工場出荷時設定 年月日時分秒

04.07.12 15:25:37

1

- ③ 設定ボタンを押すと設定画面に戻ります。

※日時の単画面および分割画面への表示/非表示も設定できます。31~32 ページ 2-4.単画面に表示および 2-5.分割画面に表示をご参照ください。

カメラの映像を見る(ライブ モード)

カメラの映像を見る(ライブ モード)

■ライブ モードの確認方法.....	12
■単画面表示.....	12
■分割画面表示.....	12
■自動切換え(オート シーケンス).....	13
●自動切換えの設定.....	13
●特定のチャンネルのスキップ.....	13
●自動切換え時間の設定.....	13
■アラーム入力.....	13
■カメラ番号表示.....	14
●カメラ番号パターン.....	14
●単画面に表示.....	14
●分割画面に表示.....	15
■音声出力.....	15
■ボタン ロック機能.....	15
●ロック方法.....	15
●ロック解除方法.....	15

■ライブ モードの確認方法

TV カメラの映像がリアル タイムでモニタに表示され、ライブ・ボタン LED(緑)が点灯している状態を、ライブ モードといいます。
レコーダの再生操作をおこなわない限り通常はライブ モードで表示されます。

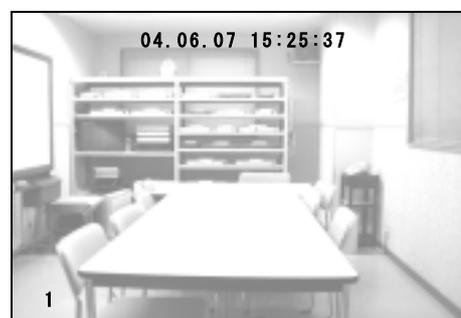


■単画面表示

チャンネル セレクト ボタン (**1** ~ **4**) を押すと、カメラ入力 1~4 の映像がモニタに単画面表示されます。



※表示チャンネルが OFF に設定されていると単画面は黒表示され、カメラ番号も表示されません。



■分割画面表示

田 ボタンを押すとカメラ入力 1~4 の映像がモニタに 4 分割または 2 分割表示されます。

4 分割/2 分割の切換え方法は、37 ページ **7-2.分割モード** をご参照ください。



4 分割表示画面例



2 分割表示画面例

※表示チャンネルが OFF に設定されているチャンネル部分は黒表示され、カメラ番号も表示されません。

- 注意**
- 2 分割表示の場合は、カメラ入力 1,2 の映像が表示されます。カメラ入力 3,4 の映像は表示されません。
 - 2 分割に設定した場合でも、再生モード時は 4 分割表示になります。

カメラの映像を見る(ライブ モード)

■自動切換え(オート シーケンス)

単画面のチャンネル表示を自動的に切換えて表示します。

●自動切換えの設定

オート ボタンを押します。

画面左上部に“Auto”が表示され、チャンネル表示が 1→2→3→4→1・・・の順に自動的に切換わります。

ライブ モードの単画面表示、分割画面表示のどちらでもオート ボタンを押すことにより自動切換えになります。



●特定のチャンネルのスキップ

チャンネル表示が OFF に設定されているチャンネルは自動切換えのときスキップします。

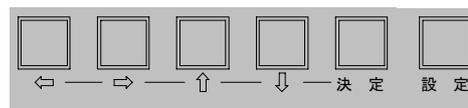
(例)表示チャンネル 2 を“OFF”にしたときの自動切換え動作



- 注意**
- カメラ入力のないチャンネルは OFF に設定してください。
 - 表示チャンネルが単チャンネルの場合は、自動切換え動作は起こりません。
 - 表示チャンネルの ON/OFF の方法は 9 ページ ●表示チャンネルの設定をご参照ください。

●自動切換え時間の設定

チャンネル表示の自動切換え間隔を 1 秒～999 秒の間で設定できます。



- ① 設定ボタンを押して設定画面を表示します。
- ② 上、下ボタンでカーソル▷を“3. 画面表示”に合わせ、決定ボタンを押します。
- ③ 上、下ボタンでカーソル▷を“5. 自動切換え時間”に合わせ、決定ボタンを押すと値の左端の桁が点滅します。
- ④ 左、右ボタンで点滅を左右に移動させ、上、下ボタンで値(001～999 秒)を変更し、決定ボタンを押すと値が確定し点滅が止まります。
工場出荷時設定は 3 秒です。
- ⑤ 設定ボタンを押すと、設定画面に戻ります。

設定

1. 検索
2. 日付・時刻
- ▷ 3. 画面表示
4. 録画
5. アラーム
6. 動き検出
7. その他

画面表示

1. CH. 01-----ON
2. CH. 02-----ON
3. CH. 03-----ON
4. CH. 04-----ON
- ▷ 5. 自動切換え時間---003
6. カメラ番号-----01~04
7. 単画面に表示-----ON
8. 分割画面に表示---OFF
9. 戻る

■アラーム入力

動き検出による、または外部(後付け)センサによるアラーム入力があったときは、アラーム入力のあったチャンネルが単画面表示され、画面左下部のカメラ番号が赤色に変わり点滅表示します。

アラーム保持時間が経過するとアラームは解除されます。

強制的にアラームを解除するには [1]～[4], 田 ボタンのいずれかを押ししてください。



アラーム入力は録画中でないかぎりアラーム履歴に保存されません。アラーム履歴に保存する場合は、17 ページ ■録画中のアラームをご参照ください。

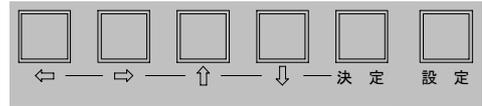
動き検出を有効/無効にする方法は 18 ページ ●動き検出の設定方法をご参照ください。

外部センサの接続例は 19 ページ ●外部センサの接続方法をご参照ください。

カメラの映像を見る(ライブモード)

■カメラ番号表示

カメラ番号の設定や表示/非表示の設定をおこないます。
設定はライブモード,再生モードに反映されます。



設定が必要な場合は、設定ボタンを押して設定画面を表示させ、 \uparrow, \downarrow ボタンでカーソル \triangleright を“3. 画面表示”に合わせ、決定ボタンを押し、以下の操作をおこなってください。

設定

1. 検索
2. 日付・時刻
- \triangleright 3. 画面表示
4. 録画
5. アラーム
6. 動き検出
7. その他

●カメラ番号パターン

各カメラ入力のカメラ番号パターンを設定します。

- ① \uparrow, \downarrow ボタンでカーソル \triangleright を“6. カメラ番号”に合わせ、決定ボタンを押すと値が点滅します。
- ② \uparrow, \downarrow ボタンで値を変更し、決定ボタンを押すと値が確定し点滅が止まります。

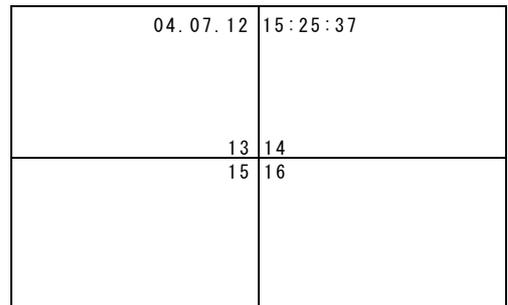
値	動作
01~04	カメラ番号 1,2,3,4 を割り当てる
05~08	カメラ番号 5,6,7,8 を割り当てる
09~12	カメラ番号 9,10,11,12 を割り当てる
13~16	カメラ番号 13,14,15,16 を割り当てる

工場出荷時設定 01~04

- ③ ここで設定を終了する場合は、設定ボタンを押すと、設定画面に戻ります。

画面表示

1. CH. 01-----ON
2. CH. 02-----ON
3. CH. 03-----ON
4. CH. 04-----ON
5. 自動切換え時間---003
- \triangleright 6. カメラ番号-----13~16
7. 単画面に表示-----ON
8. 分割画面に表示---OFF
9. 戻る



“13~16”に設定した場合の4分割画面例

●単画面に表示

単画面へのカメラ番号表示をON/OFFします。
表示位置は画面左下部固定です。

- ① \uparrow, \downarrow ボタンでカーソル \triangleright を“7. 単画面に表示”に合わせ、決定ボタンを押すと値が点滅します。
- ② \uparrow, \downarrow ボタンで値を変更し、決定ボタンを押すと値が確定し点滅が止まります。

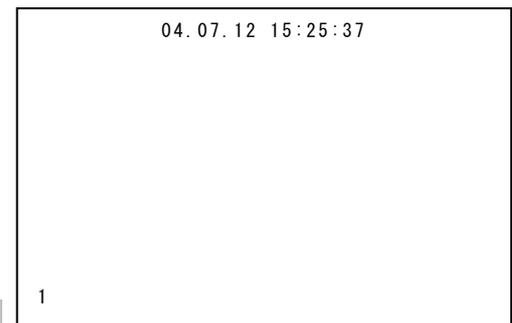
値	動作
ON	単画面にカメラ番号を表示する
OFF	単画面にカメラ番号を表示しない

工場出荷時設定:全チャンネル ON

- ③ ここで設定を終了する場合は、設定ボタンを押すと、設定画面に戻ります。

画面表示

1. CH. 01-----ON
2. CH. 02-----ON
3. CH. 03-----ON
4. CH. 04-----ON
5. 自動切換え時間---003
6. カメラ番号-----13~16
- \triangleright 7. 単画面に表示---ON
8. 分割画面に表示---OFF
9. 戻る



※ライブモード時に単画面のカメラ番号が赤色に変わり点滅表示することがあります。これはそのチャンネルで動きが検出されたか、センサ入力があったことを示すアラームです。アラームは一定の保持時間経過後、解除されます。強制的にアラームを解除するには $\boxed{1} \sim \boxed{4}$, $\boxed{\text{田}}$ ボタンのいずれかを押してください。



カメラの映像を見る(ライブ モード)

● 分割画面に表示

分割画面へのカメラ番号表示を ON/OFF します。
表示位置は 4 分割の場合は画面中央部に、2 分割の場合は画面下中央部に固定です。

① ↑, ↓ ボタンでカーソル ▷ を “ 8. 分割画面に表示 ” に合わせ、決定ボタンを押すと値が点滅します。

② ↑, ↓ ボタンで値を変更し、決定ボタンを押すと値が確定し点滅が止まります。

値	動作
ON	分割画面にカメラ番号を表示する
OFF	分割画面にカメラ番号を表示しない

工場出荷時設定:全チャンネル OFF

③ 設定ボタンを押すと、設定画面に戻ります。

画面表示

1. CH. 01 -----ON
2. CH. 02 -----ON
3. CH. 03 -----ON
4. CH. 04 -----ON
5. 自動切換え時間 --- 003
6. カメラ番号 ----- 13~16
7. 単画面に表示 ----- ON
- ▷ 8. 分割画面に表示 --- OFF
9. 戻る

04.07.12 15:25:37

1
3

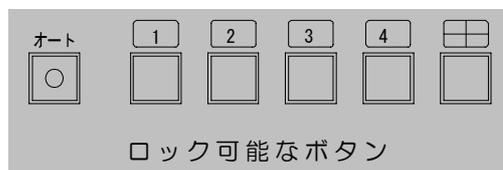
2
4

■ 音声出力

音声を聞く場合は、マイクおよびマイク アンプを接続することにより自動的に音声出力されます。7 ページ ■ 接続例をご参照になり、背面の音声入力端子にマイク アンプを介した音声信号を入力し、音声出力端子と TV モニタの音声入力端子を接続してください。

■ ボタン ロック機能

ライブ モード時または録画時に、単画面、分割画面、自動切換え画面でロック状態にすると、他のボタン操作を受け付けず、他のチャンネル表示、録画、再生等の操作をおこなえません。



● ロック方法

オート ボタン、チャンネル セレクト (1~4, 田) ボタンのうちロックしたいボタンを 10 回連続して押します。(ボタンを押す 1 間隔は 2 秒以内)

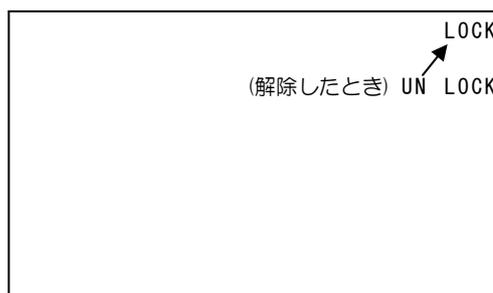
画面右上部に “LOCK” の文字が約 2 秒間表示され、そのボタンの画面表示および機能がロックされ、他のボタンの操作ができなくなります。

ロック中にボタン操作をすると、画面右上部に “LOCK” の文字が約 2 秒間表示されます。

録画中にロック状態にした場合

録画停止ボタンを受け付けません。

録画停止するには、いったんロックを解除してから録画停止ボタンを押してください。



● ロック解除方法

ロックを解除するには、ロックしたボタンを 10 回連続して押します。(ボタンを押す 1 間隔は 2 秒以内)

解除されると画面右上部に “UN LOCK” の文字が約 2 秒間表示されます。

録画する

録画する

■録画の方法.....	16
●連続録画.....	17
■録画中のアラーム.....	17
●動き検出の設定方法.....	18
●外部センサの接続方法.....	19
●アラームの解除方法.....	19
■ハード ディスク容量と対処方法.....	19
●ファイル フルとデータ フル.....	19
●空き容量の確認.....	20
●上書き録画の設定.....	20
●ハード ディスク フォーマット.....	21
■音声録音について.....	21

■録画の方法

録画開始ボタンを押すとLED(赤)が点灯し録画が開始されます。
録画停止ボタンを2秒以上押すと録画開始ボタンLED(赤)が消灯し、録画が停止します。ただし、録画チャンネルで“OFF”に設定されているカメラ入力の録画はおこないません。(10 ページ ●録画チャンネルの設定参照)



※録画ファイルは“検索”画面の“3. ファイル履歴”に保存されます。

(30 ページ 1-3.ファイル履歴参照)

※録画チャンネル,録画画質,録画枚数,上書き等を設定できます。(34 ページ 4.録画参照)

FILE	NO.	DATE	TIME	PAGE01
→	001	04.10.01	23:59	L15
	002	04.11.07	09:10	M10
	003	04.11.22	14:40	M 4
	004	04.12.05	14:40	H30
	005	04.12.12	14:40	H10
	006	04.12.14	14:40	L 1
	007			
	008			
	ESCAPE			
	BUTTON1	PAGE DOWN		
	BUTTON2	PAGE UP		

||
001

- 注意**
- 録画中は設定画面を表示し設定の変更をおこなえますが、“4. 録画”の全項目および“2. 日付・時刻”の1.と2.の設定変更はおこなえません。
 - 録画開始ボタンは次の状態では受け付けられず、録画をおこなえません。
 - ・設定画面表示中
 - ・アラーム動作中
 - ・ボタン ロック中
 - ・上書き禁止の設定でファイル フルまたはデータ フル状態
 - 最初に録画の際は、必ず試し撮りをおこない、正常に記録されていることを確認してください。

録画する

● 連続録画

連続して録画をおこなった場合、設定した区切り時間ごとにファイルが区切られます。
区切り時間は設定画面の“4. 録画”内の“8. 区切り”で6/12/24時間から選択できます。工場出荷時設定は12時間です。

工場出荷時設定の12時間区切り、画質(中)、録画枚数(10枚/秒)の場合は、135時間÷12時間=11ファイル(5日間+15時間)作成されます。40ページ ■ハードディスクの録画時間の目安をご参照ください。

録画 約135時間

1. CH. 01-----ON
2. CH. 02-----ON
3. CH. 03-----ON
4. CH. 04-----ON
5. 画質-----中
6. 録画枚数-----10枚/秒
7. 上書き-----YES
- ▷ 8. 区切り-----12時間
9. 戻る

- 注意**
- 上書き録画に設定した場合、古いデータ消去はファイル単位に消去されます。連続で長時間録画していると、消去される範囲も多くなりますのでご注意ください。
 - 連続録画のファイル(6/12/24時間区切り)の切換え時は瞬間的に録画枚数が1(枚/秒)となり、直ぐに設定された録画枚数30/15/10/4/2(枚/秒)に戻ります。

1日1回は録画状態をご確認ください

連続して録画をおこなう場合は、1日1回は右上のハードディスクアクセス表示LED(赤)が点滅しており、録画動作が正しくおこなわれていることをご確認ください。万が一LEDが点滅していなかったり、モニター画面上に“ライトエラー”等のメッセージが表示されている場合は、販売店にご相談ください。

■ 録画中のアラーム

録画中に、動き検出による、または外部(後付け)センサによるアラーム入力があったときは、アラーム入力のあったチャンネルが単画面表示され、画面左下部のカメラ番号が赤色に変わり点滅表示し、録画開始ボタンLED(赤)が点滅します。
アラーム保持時間が経過するとアラームは解除されます。

録画開始



04.07.12 15:25:37



録画中のアラーム入力は“検索”画面の“2. アラーム履歴”に保存されます。
(29ページ 1-2.アラーム履歴参照)

```
ALARM
NO.  DATE   TIME  PAGE01
→ 001 04.10.01 23:59 S3
  002 04.11.07 09:10 M1
  003 04.11.07 09:10 M2
  004 04.11.07 09:10 M2
  005 04.11.07 09:10 M3
  006 04.11.07 09:10 S2
  007 04.11.07 09:11 M2
  008 04.11.07 09:11 M1
ESCAPE
```

BUTTON1 PAGE DOWN

BUTTON2 PAGE UP

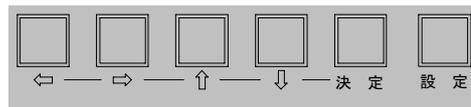
||
001

- 注意**
- アラーム中は設定ボタンを受け付けず、設定画面を表示できません。
 - 録画がおこなわれていない時にアラームが入力された場合は、単画面左下部のカメラ番号が赤点滅するのみです。録画開始ボタンLEDの点滅はありません。またアラーム履歴の保存もおこなわれません。
 - アラーム履歴の右端のアラームの種類は、M:動き検出、S:外部センサです。
 - アラーム履歴の右端のアラームの種類(M*/S*)のチャンネル表示(*)には1~4のカメラ入力が表示されます。1~16のカメラ番号ではありません。

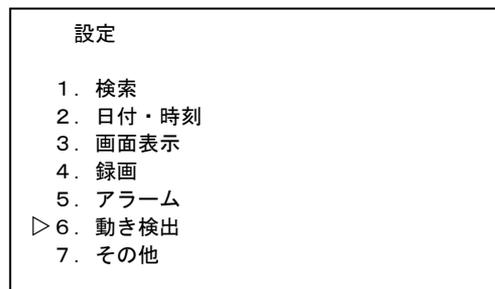
録画する

●動き検出の設定方法

あるチャンネルの画面に動きが検出されたときアラーム信号を送る設定です。検出動作の有効(感度)/無効の設定と検出位置の設定をおこないます。

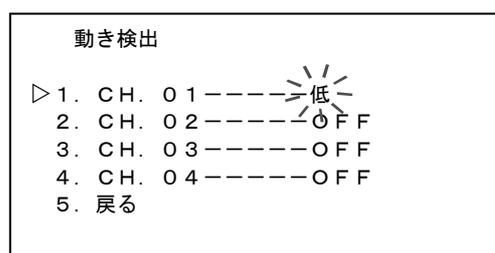


- ①設定ボタンを押して、設定画面を表示させ、 \uparrow, \downarrow ボタンでカーソル \triangleright を“6. 動き検出”に合わせ、決定ボタンを押し、“動き検出”画面を表示させます。



動き検出の感度を設定します。

- ② \uparrow, \downarrow ボタンでカーソル \triangleright を設定したいチャンネルに合わせ、決定ボタンを押すと感度の値が点滅します。



- ③ \uparrow, \downarrow ボタンで値を変更し、決定ボタンを押します。

値	OFF	高	中	低
感度	無効	感度 高 ←————→ 低		

工場出荷時設定:全チャンネル OFF

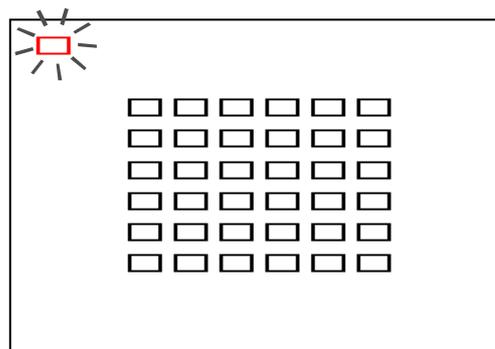
値をOFFに設定した場合は“動き検出”画面のままなので、他の設定したいチャンネルについても②から設定をおこないます。

値を高/中/低のいずれかに設定した場合は④に進みます。

- 注意**
- カメラ入力のないチャンネルは“OFF”に設定してください。
 - 速い動きや小さな対象物の場合、検出できないことがあります。
 - 光が射し込んだときなどにもセンサが働くことがあります。
 - 設定後は設置した場所にてかならず動作確認をしてください。

動き検出の位置を設定します。

- ④検出位置設定画面が表示され、左上に赤い \square が点滅表示しています。 $\leftarrow, \rightarrow, \uparrow, \downarrow$ ボタンで点滅を移動させ、検出したい位置で決定ボタンを押すと、 \square が表示されます。 \square を消す場合も、赤い \square の点滅をその場所に移動させ、決定ボタンを押すと、 \square が消えます。



- ※検出可能な位置は(縦10×横10=)100ヶ所です。
工場出荷時設定では画面中央部36ヶ所が設定されています。
※感度OFFの場合は検出位置設定画面は表示されません。

- ⑤設定ボタンを押すと“動き検出”画面に戻ります。

他のチャンネルについても②～⑤を繰り返して設定をおこなってください。

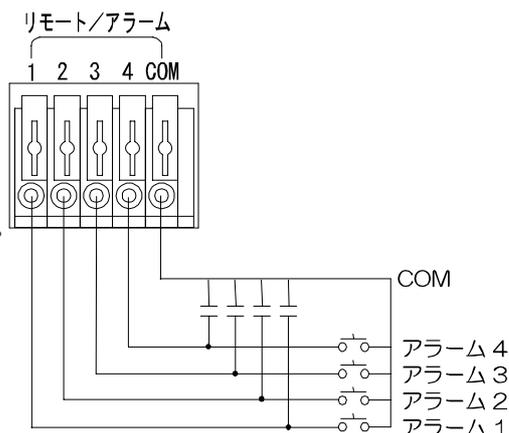


- ⑥設定ボタンを押すと、設定画面に戻ります。

録画する

● 外部センサの接続方法

外部センサなどをリモート/アラーム信号入力端子に接続する場合には、右図を参考にしてください。アラーム 1~4 の入力端子がカメラ入力 1~4 にそれぞれ対応しています。COM 端子と各アラーム入力端子を閉/開(メイク/ブレイク)することにより、信号の ON/OFF をおこないます。



※設定画面“7. その他”内“1. 端子台”でアラームを選択してください。(36 ページ 7-1.端子台 参照)

※外部センサによって録画中にアラームが入力された場合は、アラーム履歴の右端に“s”が表示されます。

※アラーム信号は接点信号またはオープン コレクタ信号で入力してください。

※開/閉接点のどちらでも入力をおこなえます。
“入力接点”で閉(ノーマル オープン)/開(ノーマル クローズ)を選択してください。

アラーム

▷ 1. 入力接点 ----- 閉 (N. O)
 2. 保持時間 ----- 005 秒
 3. 解除後動作 ----- 前画面
 4. 戻る

注意 ●接点信号などノイズやチャタリングが発生する場合には外部にて防止回路をご用意ください。
 ●アラーム信号のパルス幅は 34msec. 以上、パルス間隔は 500msec. 以上としてください。

● アラームの解除方法

アラームは保持時間で設定された時間が経過すると解除されます。

強制的にアラーム動作を解除したい場合

1 ~ 4 , 田 ボタンのいずれかを押すと、次にアラームが入るまではアラームが解除されます。



動き検出を無効にする場合

アラームが入っていない状態のときに設定ボタンを押して設定画面を表示します。(このとき録画停止ボタンを 2 秒以上押して録画を停止すると設定がおこないやすくなります。)

“6. 動き検出”を選択して決定ボタンを押し、“動き検出”画面の各チャンネルを OFF にすると、動き検出が無効になります。(18 ページ ●動き検出の設定方法参照)

注意 ●録画停止ボタンでは、アラームの解除はおこなえません。

■ ハード ディスク容量と対処方法

● ファイル フルとデータ フル

上書き禁止の設定になっていると、ハード ディスクがいっぱいになったとき下表のメッセージが表示されます。1.~4.の方法で対処してください。

メッセージ	内 容
まもなくファイル フル	録画ファイル数が 246 件を超えると表示します。
ファイル フル	録画ファイル数が 256 件になると表示します。
まもなくデータ フル	録画領域がハード ディスク容量の 1% 未満になると表示します。
データ フル	録画領域がいっぱいになると表示します。

- 1.一時的にメッセージを消す…設定ボタンを押します。
設定画面表示中はメッセージが表示されません。
- 2.上書きをおこなう設定にして自動的に古いファイルを消去する
…20 ページ ●上書き録画の設定をご参照ください。
- 3.録画ファイルを一括消去する
…21 ページ ●ハード ディスク フォーマットをご参照ください。
- 4.ハード ディスクを交換する…39 ページ ■交換方法をご参照ください。



注意 ●工場出荷時設定では上書きをおこなう設定になっていないので、メッセージは表示されません。上書きによるファイルの消去にじゅうぶんご注意ください。

録画する

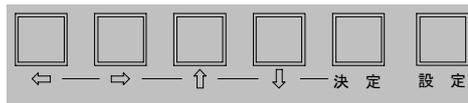
● 空き容量の確認

設定画面の“7. その他”内にて空き容量やファイル数の確認をすることができます。

設定ボタンで設定画面を表示させ、↑,↓ボタンでカーソル▷を“7. その他”に合わせ、決定ボタンを押し“その他”画面を表示させます。

下表の項目でいずれか1つが“注意が必要な値”に該当する場合、対処が必要になります。

項目	注意が必要な値
3.HDD 残量	1.0%未満
4.ファイル数	256件近く



設定

1. 検索
2. 日付・時刻
3. 画面表示
4. 録画
5. アラーム
6. 動き検出
- ▷ 7. その他

その他

1. 端子台-----アラーム
2. 分割モード-----4
- ▷ 3. HDD残量-----99.9%
4. ファイル数-----000
5. アラーム数-----000
6. 使用日数-----0000日
7. 停電回数-----0000回
8. 戻る

● 上書き録画の設定

上書きをおこなう設定にすると、自動的に古いファイルから順次消去して録画することができ、ディスクがいっぱいになってもメッセージは表示されません。

上書き禁止の設定にすると、ファイル フルまたはデータ フルで録画が停止します。

① 設定ボタンで設定画面を表示させ、↑,↓ボタンでカーソル▷を“4. 録画”に合わせ、決定ボタンを押し“録画”画面を表示させます。

② ↑,↓ボタンでカーソル▷を“7. 上書き”に合わせ、決定ボタンを押すと値が点滅します。

③ ↑,↓ボタンで値を変更し、決定ボタンを押します。

値	動作
YES	上書きする
NO	上書き禁止

④ 設定ボタンを押すと設定画面に戻ります。

録画 約135時間

1. CH. 01-----ON
2. CH. 02-----ON
3. CH. 03-----ON
4. CH. 04-----ON
5. 画質-----中
6. 録画枚数-----10枚/秒
- ▷ 7. 上書き-----YES
8. 区切り-----12時間
9. 戻る

注意

- 上書き時のデータ消去はファイル単位なので、連続で長時間録画している場合には、消去される範囲も多くなります。
- 消去された録画ファイルに含まれるアラームも、アラーム履歴から削除されます。(29ページ 1-2.アラーム履歴 参照)

録画する

●ハード ディスク フォーマット

ハード ディスクに保存されている録画ファイルおよびアラーム履歴を一括消去します。通常はハード ディスク フォーマットの項目は設定画面に表示されていません。

- ① 設定ボタンで設定画面を表示させ、 \uparrow 、 \downarrow ボタンでカーソル \triangleright を“7. その他”に合わせ、決定ボタンを押し“その他”画面を表示させます。
- ② \uparrow 、 \downarrow ボタンでカーソル \triangleright を“8. 戻る”に合わせ、オート ボタンを2秒以上押しと、“HDDフォーマット--NO”の文字が表示されます。
- ③ \uparrow 、 \downarrow ボタンで点滅している値を“YES”にし、決定ボタンを押すと、ハード ディスク フォーマットがおこなわれます。

設定

1. 検索
2. 日付・時刻
3. 画面表示
4. 録画
5. アラーム
6. 動き検出
- \triangleright 7. その他

その他

1. 端子台-----アラーム
2. 分割モード`-----4
3. HDD残量-----00. 3%
4. ファイル数-----247
5. アラーム数-----355
6. 使用日数-----0047日
7. 停電回数-----0000回
- \triangleright 8. 戻る

HDDフォーマット--**YES**



注意 ●ハード ディスク フォーマットは各種設定の初期化(DEFAULT SET)とは違います。(8 ページ ●工場出荷時設定に戻すには…参照)
●一括消去された録画ファイルおよびアラーム履歴は元に戻すことはできませんので、じゅうぶんご注意ください。

■音声録音について

音声の録音をおこなう場合は、マイクおよびマイク アンプを接続することにより自動的に録音をおこなうことができます。7 ページ ■接続例をご参照になり、背面の音声入力端子にマイクアンプを介した音声信号を入力してください。

録画枚数の設定により録音できない場合があります。設定ボタンで設定画面を表示させ、 \uparrow 、 \downarrow ボタンでカーソル \triangleright を“4. 録画”に合わせ、決定ボタンを押し“録画”画面を表示させ、“6. 録画枚数”の値を下表を参照し確認してください。

値(枚/秒)	録画密度	録音
30	\updownarrow 細かい 粗い	する
15		する
10		する
4		しない
2		しない
1		しない

録画 約135時間

1. CH. 01-----ON
2. CH. 02-----ON
3. CH. 03-----ON
4. CH. 04-----ON
5. 画質-----中
- \triangleright 6. 録画枚数-----10枚/秒
7. 上書き-----YES
8. 区切り-----12時間
9. 戻る

再生モードの音声の確認は、背面の音声出力端子とTVモニタの音声入力端子を接続し、録画ファイルの再生をおこなうと音声も再生されます。

注意 ●音声の再生は録画ファイルの再生時のみです。早送り時や逆再生時には音声は再生されません。

再生する(再生モード)

再生する(再生モード)

■再生方法の種類と確認方法.....	22	■再生モード時の各種操作.....	25
■ダイレクト再生.....	22	●再生動作の種類.....	25
■日時検索再生.....	22	●ボタン機能一覧表.....	25
■履歴検索再生.....	23	●再生チャンネルの切り換え方法.....	26
■アラーム オート検索.....	24	●再生モードからライブ モードへの戻りかた.....	26
		■同時録画再生.....	27

■再生方法の種類と確認方法

再生方法には、ダイレクト再生・日時検索再生・履歴検索再生の3種類があります。

ダイレクト再生は、ライブモード時に直接再生ボタンを押して最後に再生または録画されたファイルを再生させる方法です。

日時検索再生は、検索したい日時を入力して該当するファイルを再生させる方法です。

履歴検索再生は、アラーム履歴またはファイル履歴からファイルを選択して再生させる方法です。

これら再生モード時は画面右下に“▶”等の記号と再生中のファイルナンバーが表示されます。また再生モード時はライブボタンLED(緑)が消灯します。

再生中のファイルにアラーム入力があった場合は、カメラ番号が赤色に変わり点滅表示します。

■ダイレクト再生

ライブモード時に直接再生ボタンを押すと、最後に動作(再生または録画)をおこなったファイルが再生されます。(再生モード)

再生モード中は画面右下に“▶”とファイルナンバーが表示され、ファイルの最後で一時停止状態になり“END II”が表示されます。



注意 ●ダイレクト再生をおこなうときは、
1 ボタンで単画面1チャンネルを表示させてください。チャンネルの切り換えや分割表示は再生モードになってからおこなってください。(26ページ ●再生チャンネルの切り換え方法参照)



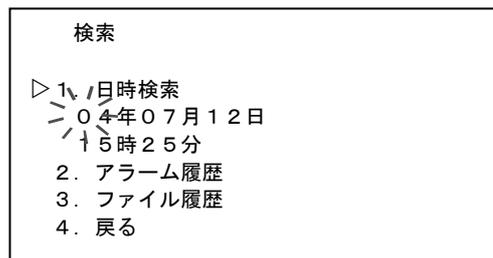
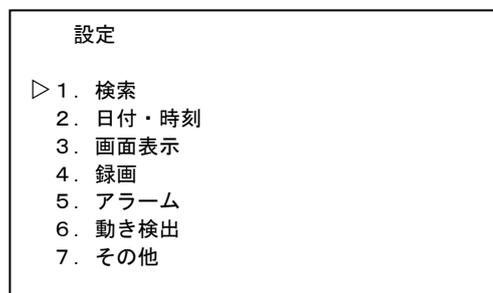
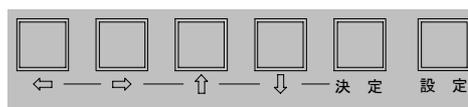
■日時検索再生

日時を入力して該当するファイルを検索し、再生させます。

① 設定ボタンを押して、設定画面を表示させ、↑,↓ボタンでカーソル▷を“1. 検索”に合わせ、決定ボタンを押して“検索”画面を表示させます。

② ↑,↓ボタンでカーソル▷を“1. 日時検索”に合わせ、決定ボタンを押すと、左端の値から点滅します。

③ ←,→ボタンで点滅を移動させ、↑,↓ボタンで値を変更し、検索したい日時を入力します。決定ボタンを押すと点滅が止まり、検索がおこなわれます。

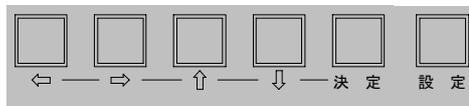


再生する(再生モード)

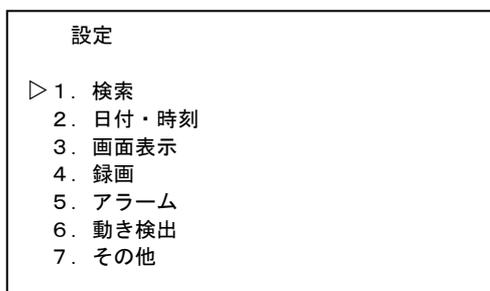
- ④該当する録画ファイルが見つかると、画面右下部に“▶”とファイル ナンバーが表示され、入力した日時分の00秒から再生されます。ファイルの最後で一時停止状態になり“END||”が表示されます。
入力した日時が履歴と合致しない場合でも、最も近い日時のファイルが再生されます。

履歴検索再生

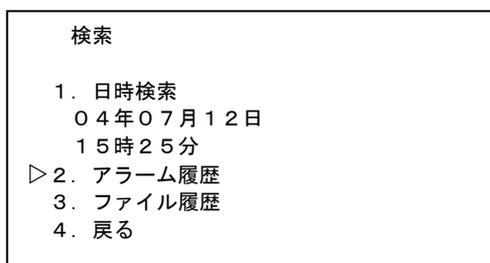
録画ファイル履歴またはアラーム履歴から選択して再生させます。



- ①設定ボタンを押して、設定画面を表示させ、↑,↓ボタンでカーソル▷を“1. 検索”に合わせ、決定ボタンを押して“検索”画面を表示させます。



- ②↑,↓ボタンでカーソル▷を“2. アラーム履歴”または“3. ファイル履歴”に合わせ、決定ボタンを押します。(この時点で再生モードになります。)
“2. アラーム履歴”にはアラームの履歴が表示され、
“3. ファイル履歴”には録画ファイルの履歴が表示されています。

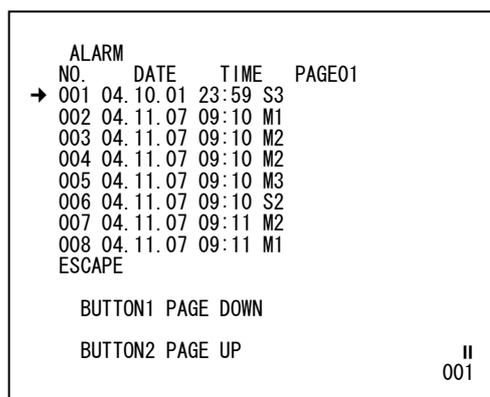


③ “2. アラーム履歴”を選択した場合

履歴には、アラーム ナンバー、日時、アラームの種類が記録されています。
アラーム履歴のページはPAGE01~64まであり、アラーム ナンバーは001~512まであります。

←,→ボタンでページを切換え、↑,↓ボタンでカーソル▷を再生したいアラーム ナンバーに合わせ、決定ボタンを押します。

画面右下部に“▶”とファイル ナンバー(アラーム ナンバーとは異なります)が表示され、アラーム入力のあった時刻からファイルが再生されます。アラーム入力中はカメラ番号が赤点減します。アラーム保持時間が終了してもファイルの最後まで再生します。

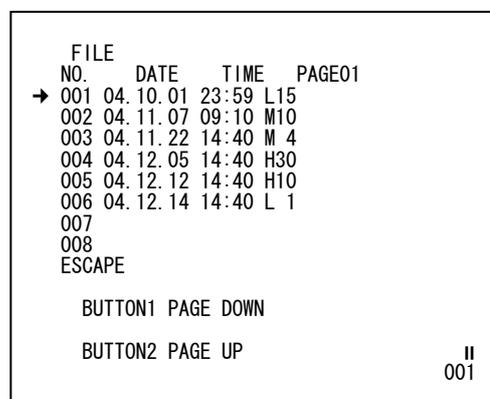


“3. ファイル履歴”を選択した場合

履歴には、ファイル ナンバー、日時、画質が記録されています。
ファイル履歴のページはPAGE01~32まであり、ファイル ナンバーは001~256まであります。

←,→ボタンでページを切換え、↑,↓ボタンでカーソル▷を再生したいファイル ナンバーに合わせ、決定ボタンを押します。

画面右下部に“▶”とファイル ナンバーが表示され、選択したファイルが再生されます。ファイルの最後で一時停止状態になり“END||”が表示されます。



※履歴画面表示中に設定ボタンを押すか、“ESCAPE”にカーソルを合わせ決定ボタンを押すと、“検索”画面に戻ります。

※29~30 ページ 1-2.アラーム履歴または 1-3.ファイル履歴もご参照ください。

再生する(再生モード)

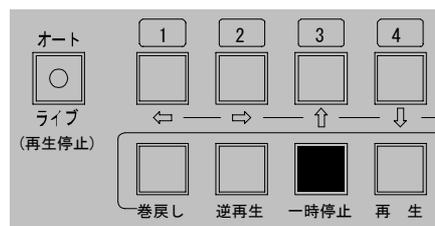
■ アラーム オート検索

ファイルの再生中および逆再生中にオート ボタンを押すと、画面右下に“AUTO”の文字が表示されてアラーム オート検索がおこなわれ、アラーム記録が検出されると一時停止状態となります。

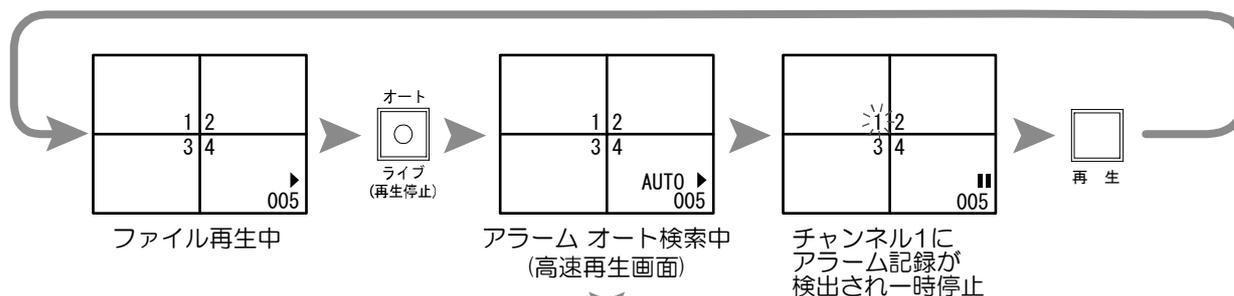
(アラーム オート検索中は高速再生画面となります。)

同じファイル内の次のアラーム記録を検索する場合は、再生ボタン(または逆再生ボタン)を押して再生(逆再生)状態にし、オート ボタンを押すと、同じ動作がおこなわれ次のアラーム記録箇所まで一時停止状態となります。

アラーム記録がない場合はファイルの最後で“END”(逆再生の場合は“TOP”)が表示されます。



● 画面とボタン操作の流れ(例)

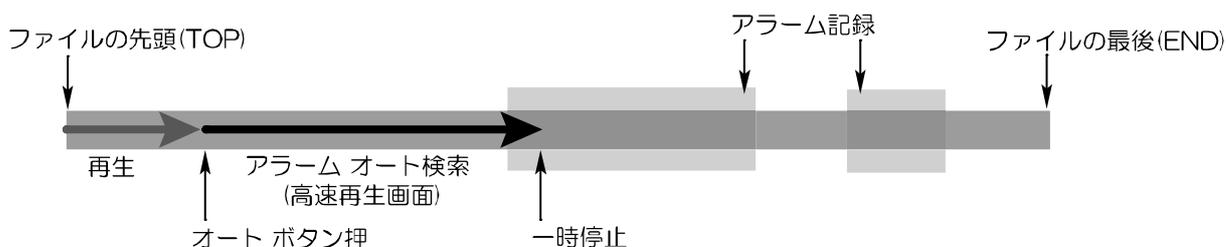


※4分割画面で再生中は全チャンネル内のアラーム オート検索がおこなわれます。

※単画面で再生中はそのチャンネル内のアラーム オート検索がおこなわれます。(他のチャンネルのアラーム記録は検出されません。)



● ファイル内イメージ



- 注意**
- アラーム保持時間は10秒以上に設定してください。保持時間が10秒未満のアラーム記録は検出されない場合があります。(35ページ 5-2.保持時間 参照)
 - 早送り,逆早送り,スロー,逆スローのときはアラーム オート検索はおこなわれません。
 - 高速再生で検索しているため、アラーム記録を検出して一時停止状態となった映像はアラーム記録の開始点ではありません。

再生する(再生モード)

■再生モード時の各種操作

●再生動作の種類

再生モードの動作には下表の 11 種類があります。

動作	画面右下の表示	動作の補足説明
再生	▶	音声はこのときだけ再生可能 ただし、録画枚数 4,2,1 枚/秒で録画されたファイルは音声なし ファイルの最後で“END II”が表示される
逆再生	◀	ファイルの先頭で“TOP II”が表示される
早送り	▶▶~▶▶▶▶▶▶▶▶	5 段階スピード ▶が増えるごとに速くなる
巻戻し	◀◀◀◀◀◀~◀◀	5 段階スピード ◀が増えるごとに速くなる
スロー	→~→→→→	3 段階スピード →が増えるごとに速くなる
逆スロー	←←←←~←	3 段階スピード ←が増えるごとに速くなる
コマ送り	II	
逆コマ送り	II	
ファイル送り	II	次のファイルの先頭へジャンプする
ファイル戻し	II	前のファイルの先頭へジャンプする
一時停止	II	

●ボタン機能一覧表

それぞれの動作中にそれぞれのボタンを押したときの動作を下表にまとめました。

ボタン	 巻戻し	 逆再生	 一時停止	 再生	 早送り
再生中	巻戻し 押す度にスピードが速くなる	逆再生 もう一度押すと逆スローになる	一時停止	スロー 押す度に再生とスローが切替わる	早送り 押す度にスピードが速くなる
逆再生中	巻戻し 押す度にスピードが速くなる	逆スロー 押す度に逆再生と逆スローが切替わる	一時停止	再生 もう一度押すとスローになる	早送り 押す度にスピードが速くなる
早送りに中	早送りスピードが遅くなる	逆再生	一時停止	再生	早送りのスピードが速くなる
巻戻し中	巻戻しスピードが速くなる	逆再生	一時停止	再生	巻戻しスピードが遅くなる
スロー中	スロー スピードが遅くなる	逆スロー	一時停止	再生	スロー スピードが速くなる
逆スロー中	逆スロー スピードが速くなる	逆再生	一時停止	スロー	逆スロー スピードが遅くなる
一時停止中	巻戻し 押す度にスピードが速くなる 停止位置がファイルの先頭の場合は動作しない	逆再生 停止位置がファイルの先頭の場合は動作しない	一時停止	再生 停止位置がファイルの最後の場合は先頭に戻って再生	早送り 押す度にスピードが速くなる 停止位置がファイルの最後の場合は動作しない
一時停止中  一時停止を押しながら…	ファイル戻し 押す度に前のファイルの先頭へジャンプ	逆コマ送り 押す度に前のコマへ戻る 停止位置がファイルの先頭の場合は動作しない		コマ送り 押す度に次のコマへ進む 停止位置がファイルの最後の場合は先頭に戻って再生	ファイル送り 押す度に次のファイルの先頭へジャンプ

再生する(再生モード)

●再生チャンネルの切換え方法

ファイルの再生中に、1~4, 田 ボタンを押すと再生チャンネルが各単画面および4分割画面に切替わります。



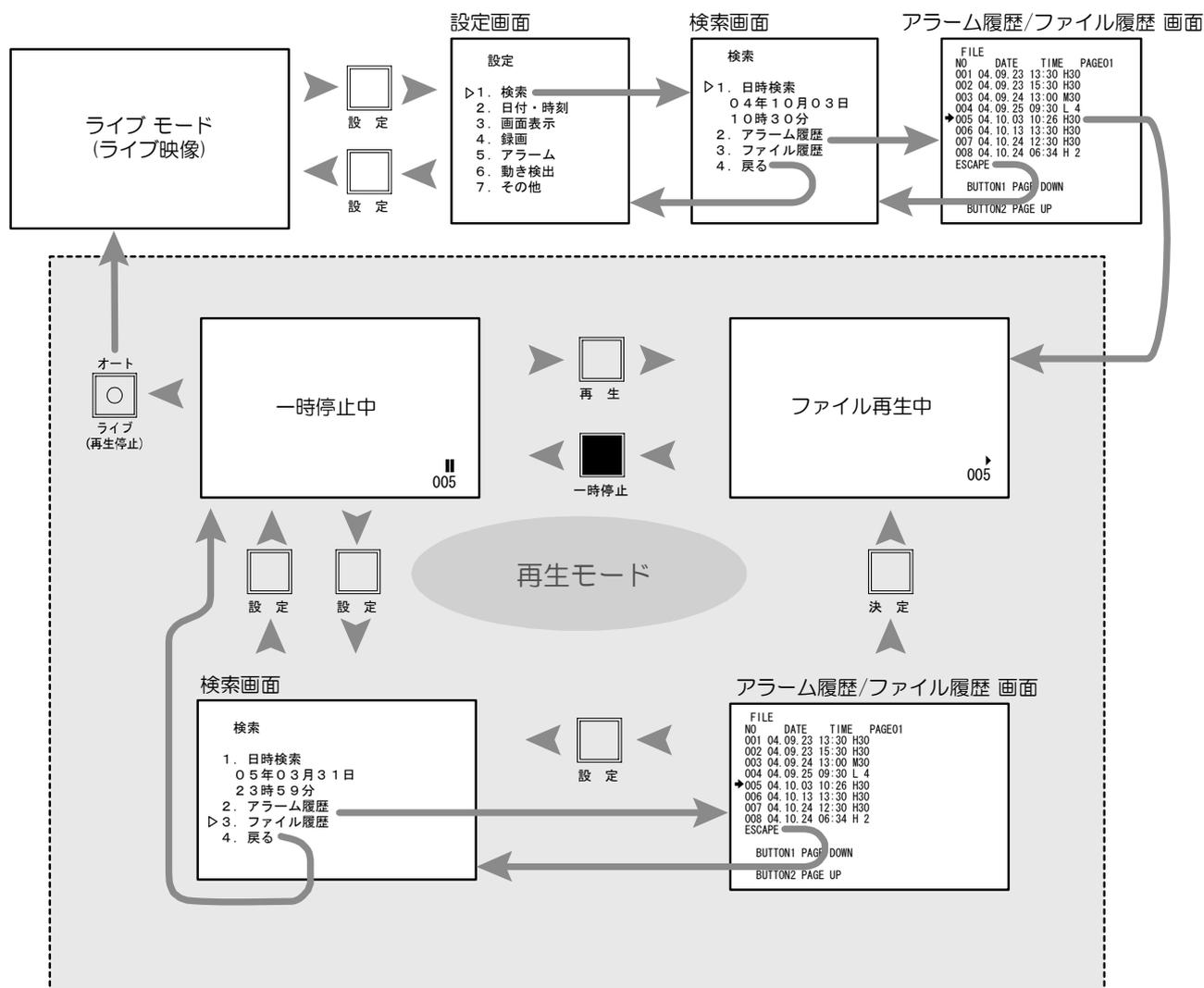
- 注意**
- 再生の自動切換え(オート シーケンス)表示はおこないません。
 - 再生モードで2分割画面表示はおこないません。
 - 単チャンネルの録画ファイルの場合は、分割表示はおこないません。
 - アラーム入力があったチャンネルは、カメラ番号が赤点滅表示されます。

●再生モードからライブモードへの戻りかた

一時停止中にオート/ライブ ボタンを押すとライブモード(下図のグレー枠外)に戻ります。

再生モード中(下図のグレー枠内)は設定ボタンを押すと“検索”画面と履歴画面のみ表示され、他の設定画面は表示されません。

他の設定画面を表示するには、ライブモードに戻ってから設定ボタンを押してください。設定画面の表示の流れは下図のようになります。



再生する(再生モード)

■同時録画再生

ADR-442 は録画したままファイルを再生する同時録画再生ができます。

●録画中のファイルの再生

録画開始ボタンを押してから、他のファイルの操作等をおこなっていないければ、現在録画中のファイルが録画開始から再生されます。(ダイレクト再生)

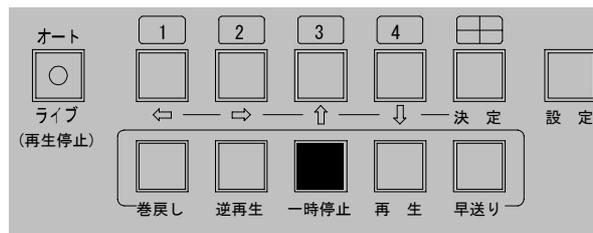
他のファイルの操作をおこなった場合は、ファイル履歴から一番最後のファイルを選択して決定ボタンを押すと、現在録画中のファイルが録画開始から再生されます。(履歴検索再生)

(22～23 ページ ■ダイレクト再生 ■履歴検索再生参照)

●他のファイルの再生

録画中に日時検索または履歴検索の方法でファイルの再生をおこないます。

(22～23 ページ ■日時検索再生および ■履歴検索再生参照)



注意 ●同時録画再生は録画を優先していますので、再生スピードが遅くなったり、チャンネル表示の切り替えが遅くなったりすることがあります。

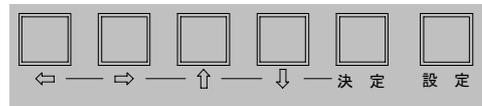
設定画面の詳細説明

設定画面の詳細説明

■設定画面の操作方法.....	28	4-3.CH.03.....	34
■設定画面.....	29	4-4.CH.04.....	34
1.検索.....	29	4-5.画質.....	34
1-1.日時検索.....	29	4-6.録画枚数.....	34
1-2.アラーム履歴.....	29	4-7.上書き.....	34
1-3.ファイル履歴.....	30	4-8.区切り.....	35
2.日付・時刻.....	31	5.アラーム.....	35
2-1.30秒補正.....	31	5-1.入力接点.....	35
2-2.日時設定.....	31	5-2.保持時間.....	35
2-3.表示範囲.....	31	5-3.解除後動作.....	35
2-4.単画面に表示.....	31	6.動き検出.....	36
2-5.分割画面に表示.....	32	6-1.CH.01.....	36
3.画面表示.....	32	6-2.CH.02.....	36
3-1.CH.01.....	32	6-3.CH.03.....	36
3-2.CH.02.....	32	6-4.CH.04.....	36
3-3.CH.03.....	32	7.その他.....	36
3-4.CH.04.....	32	7-1.端子台.....	36
3-5.自動切換え時間.....	32	7-2.分割モード.....	37
3-6.カメラ番号.....	32	7-3.HDD 残量.....	37
3-7.単画面に表示.....	33	7-4.ファイル数.....	37
3-8.分割画面に表示.....	33	7-5.アラーム数.....	37
4.録画.....	34	7-6.使用日数.....	37
4-1.CH.01.....	34	7-7.停電回数.....	37
4-2.CH.02.....	34	7-8.ハード ディスク フォーマット.....	37

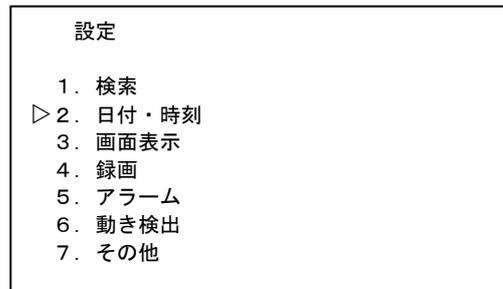
■設定画面の操作方法

ライブ モード時に設定ボタンを押すと、設定画面が表示されます。



●設定したい項目を選ぶとき

↑,↓ボタンで設定したい項目にカーソル▷(または→)を合わせ、決定ボタンを押すと、次の設定画面が表示されるか、設定値が点滅します。



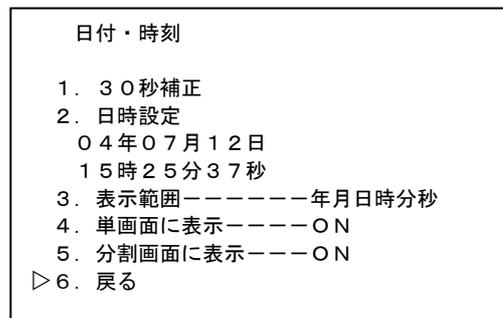
●設定値を変更したいとき

←,→ボタンで点滅を移動させ、↑,↓ボタンで値を増減させます。すべての値を変更したら最後に決定ボタンを押します。



●ひとつ前の設定画面に戻りたいとき

↑,↓ボタンで各サブ設定画面の“戻る”または“ESCAPE”の項目にカーソルを合わせ、決定ボタンを押すとひとつ前の設定画面に戻ります。また、設定ボタンを押してもひとつ前に戻ります。



●設定画面を終了してライブ モードに戻りたいとき

設定値などが点滅状態でないときに、設定ボタンを押して“設定”画面に戻り、さらに設定ボタンを押すとライブ モードに戻ります。

注意 ●設定ボタンは次の状態では受け付けられず、設定画面を表示できません。

- ・アラーム動作中
- ・ボタン ロック中
- ・再生モード中(一時停止以外)
- ・設定画面の値が点滅中

設定画面の詳細説明

■ 設定画面

1. 検索

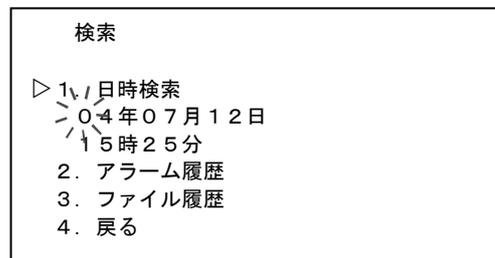
録画されているファイルの検索・再生をおこないます。

1-1. 日時検索

日時を入力して録画ファイルの検索をおこなうことができます。

↑, ↓ボタンでカーソル▷を“1. 日時検索”に合わせ決定ボタンを押すと、左端の値から点滅します。

←, →ボタンで点滅を移動させ、↓, ↑ボタンで値を変更し、検索したい日時を入力します。決定ボタンを押すと点滅が止まり、検索がおこなわれます。



該当する映像が見つかったら、入力した日時分の00秒から再生されます。入力された日時が履歴と合致しない場合でも、最も近い日時のファイルが再生されます。

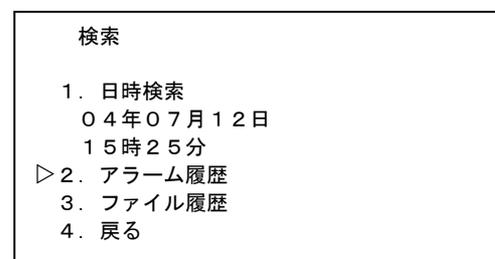
1-2. アラーム履歴

録画中のアラーム入力の履歴が表示されます。512件まで登録されます。

● ページ表示

画面右上部にページが表示され、“PAGE01”～“PAGE64”まであります。

←, →ボタンでページを切替えます。



● アラーム ナンバー

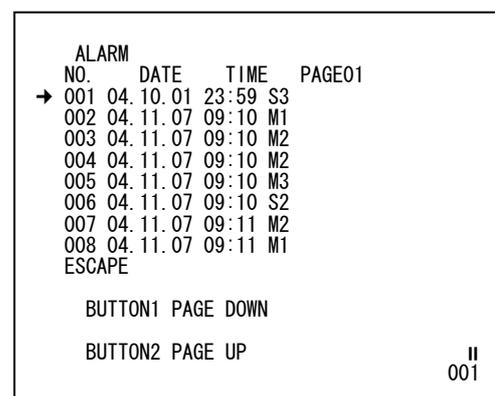
アラーム ナンバーは“NO.”欄に表示され、“001”～“512”まであり、1ページに8件表示されます。

↑, ↓ボタンでカーソル→を移動させてアラームを選択し、決定ボタンを押すと、録画ファイルがアラーム入力時から再生されます。

● 日付,時刻

アラームの日付は“DATE”欄に、時刻は“TIME”欄に表示されます。

例えば、“04. 10. 01 23:59”と表示されているアラームは2004年10月1日23時59分台にアラーム入力があったことを示しています。



● アラームの種類

アラーム入力の種類は、右端に表示されます。

値	種類
M*	動き検出(*は検出されたチャンネル 1~4)
S*	外部センサ(*は検出されたチャンネル 1~4)

注意 ● アラームの種類(M*/S*)のチャンネル表示(*)には1~4のカメラ入力が表示されます。1~16のカメラ番号ではありません。

設定画面の詳細説明

2.日付・時刻

日付・時刻の調整と画面表示の設定をおこないます。

2-1.30秒補正

“2.日時設定”の秒の値を“00”に合わせます。
 カーソル▷で“1.30秒補正”を選択し、秒の値(右図では“37”)が、00~29秒の時に決定ボタンを押すと“00”秒となり、30~59秒の時に決定ボタンを押すと1分進んで“00”秒となります。

※録画中は設定をおこなえません。

設定画面を表示させなくても、ライブモード中に時刻の30秒補正をおこなうことができます。

4ボタンを押しながら、1ボタンを押すと、時刻の秒の値が00~29の時は00となり、秒の値が30~59の時は1分進んで00となります。
 ただし、録画中はこの操作はおこなえません。



日付・時刻

- ▷ 1. 30秒補正
- 2. 日時設定
 - 04年07月12日
 - 15時25分37秒
- 3. 表示範囲-----年月日時分秒
- 4. 単画面に表示-----ON
- 5. 分割画面に表示-----ON
- 6. 戻る

2-2.日時設定

現在の日付・時刻の調整をおこないます。

カーソル▷で“2.日時設定”を選択し、決定ボタンを押すと左端の値から点滅します。
 ←,→ボタンで点滅を移動させ、↑,↓ボタンで値を変更します。決定ボタンを押すと点滅が止まり、時刻が決定します。

※録画中は設定をおこなえません。

▷ 2.日時設定

04年07月12日
 15時25分37秒

2-3.表示範囲

ライブモードおよび再生モードの日時の表示形式の設定をおこないます。

値	表示例
年月日時分秒	04. 07. 12 15 : 25 : 37
年月日時分	04. 07. 12 15 : 25
年月日	04. 07. 12
月日時分秒	07. 12 15 : 25 : 37
月日時分	07. 12 15 : 25
月日	07. 12
時分秒	15 : 25 : 37
時分	15 : 25

工場出荷時設定：年月日時分秒

※日付・時刻の表示位置は画面中央上で固定です。

2-4.単画面に表示

単画面への日付・時刻表示をON/OFFします。
 ONに設定した場合、ライブモード時は現在の時刻が表示され、再生モード時は録画時の時刻が表示されます。

値	動作
ON	単画面に日付・時刻を表示する
OFF	単画面に日付・時刻を表示しない

工場出荷時設定：ON

04.07.12 15:25:37

1

設定画面の詳細説明

2-5.分割画面に表示

分割画面への日付・時刻表示を ON/OFF します。
ON に設定した場合、ライブ モード時は現在の時刻が表示され、再生モード時は録画時の時刻が表示されます。

値	動作
ON	分割画面に日付・時刻を表示する
OFF	分割画面に日付・時刻を表示しない

工場出荷時設定:ON

04.07.12	15:25:37

3.画面表示

表示チャンネルとカメラ番号の設定をおこないます。

3-1.CH.01 }
3-2.CH.02 } 共通
3-3.CH.03 }
3-4.CH.04 }

表示チャンネルを設定します。
ライブ モードにおける各チャンネルの表示/非表示を設定します。

値	動作
ON	映像・カメラ番号を表示する
OFF	映像・カメラ番号を表示しない

工場出荷時設定:全チャンネル ON

画面表示

- ▷ 1. CH. 01-----ON
- 2. CH. 02-----ON
- 3. CH. 03-----ON
- 4. CH. 04-----ON
- 5. 自動切換え時間---003
- 6. カメラ番号-----01~04
- 7. 単画面に表示-----ON
- 8. 分割画面に表示---OFF
- 9. 戻る

- 注意**
- カメラ入力のないチャンネルはかならず OFF に設定してください。
 - すべてのチャンネルを OFF に設定することはできません。
 - 表示チャンネルが OFF に設定されていても、録画チャンネルが ON に設定されていれば録画はおこなわれます。(34 ページ 4-1~4.CH.01~04 参照)

3-5.自動切換え時間

ライブ モード自動切換え画面(オート シーケンス)の切換え間隔を設定します。
1~999 秒の値を設定できます。
工場出荷時設定:003(秒)

3-6.カメラ番号

各カメラ入力のカメラ番号を設定します。
設定はライブ モード,再生モードに反映されます。
再生モードの表示は録画時のカメラ番号ではなく、現在設定されているカメラ番号が表示されます。録画ファイルのアラーム入力時の赤色点滅もアラーム入力時ではなく、現在設定されているカメラ番号が表示されます。

値	動作
01~04	カメラ入力 1~4 にカメラ番号 1~4 を割り当てる
05~08	カメラ入力 1~4 にカメラ番号 5~8 を割り当てる
09~12	カメラ入力 1~4 にカメラ番号 9~12 を割り当てる
13~16	カメラ入力 1~4 にカメラ番号 13~16 を割り当てる

工場出荷時設定:01~04

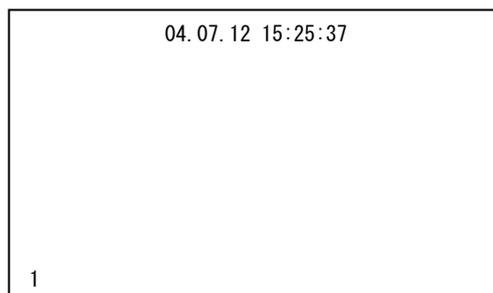
設定画面の詳細説明

3-7.単画面に表示

単画面へのカメラ番号表示を ON/OFF します。
設定はライブ モード,再生モードに反映されます。
表示位置は画面左下部固定です。

値	動作
ON	単画面にカメラ番号を表示する
OFF	単画面にカメラ番号を表示しない

工場出荷時設定: ON



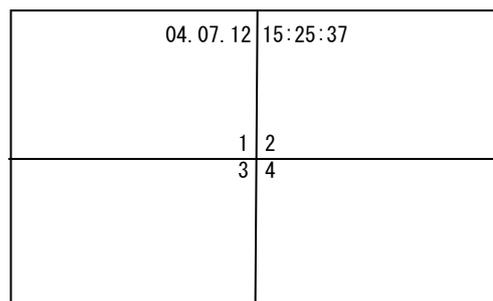
※OFF に設定した場合でも、ライブ モードおよび再生モードでアラーム入力があるとカメラ番号の赤点滅表示はおこなわれます。

3-8.分割画面に表示

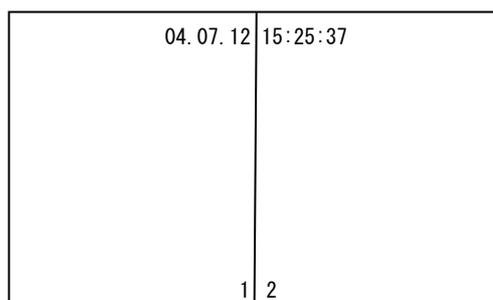
分割画面へのカメラ番号表示を ON/OFF します。
設定はライブ モード,再生モードに反映されます。
表示位置は 4 分割の場合は画面中央部に、2 分割
(ライブ モードのみ)の場合は画面下中央部に固
定です。

値	動作
ON	分割画面にカメラ番号を表示する
OFF	分割画面にカメラ番号を表示しない

工場出荷時設定: OFF



※OFF に設定した場合でも、ライブ モードおよ
び再生モードでアラーム入力があるとカメラ番
号の赤点滅表示はおこなわれます。



設定画面の詳細説明

4. 録画

録画の設定をおこないます。

“約***時間”の値は120Gbytesのハードディスクに録画可能な時間の目安を表しています。

“5.画質”“6.録画枚数”の設定条件によって

“約***時間”の値が変動します。

計画的な録画やオプションハードディスクをご用意する場合に参考にしてください。

40ページ ■ハードディスクの録画時間の目安もご参照ください。

録画	約135時間
▷1. CH. 01	-----ON
2. CH. 02	-----ON
3. CH. 03	-----ON
4. CH. 04	-----ON
5. 画質	-----中
6. 録画枚数	-----10枚/秒
7. 上書き	-----YES
8. 区切り	-----12時間
9. 戻る	

- 4-1.CH.01
 - 4-2.CH.02
 - 4-3.CH.03
 - 4-4.CH.04
- } 共通

録画チャンネルの設定をします。
チャンネル毎に録画する/しないを設定します。

値	動作
ON	録画する
OFF	録画しない

工場出荷時設定:全チャンネル ON

- 注意**
- カメラ入力のないチャンネルはかならずOFFに設定してください。
 - 表示チャンネルがOFFに設定されていても、録画チャンネルがONに設定されていれば録画はおこなわれます。
(32ページ 3-1~4.CH.01~04 参照)

4-5.画質

録画画質を設定します。

値	圧縮比	ファイル履歴に表示される記号
高	1/10	H
中	1/15	M
低	1/20	L

工場出荷時設定:中

4-6.録画枚数

1秒あたりの録画枚数を設定します。録画映像はフィールド録画です。

値(枚/秒)	録画間隔(秒)	録画密度	録音
30	0.03	細かい ↑	する
15	0.06		する
10	0.1		する
4	0.25	↓ 粗い	しない
2	0.5		しない
1	1.0		しない

工場出荷時設定:10

4-7.上書き

録画ファイルが256件を超えたとき、または120Gbytesハードディスクがいっぱいになったときの上書きの設定をします。上書きするとファイル履歴の一番古いファイルが消去され、ファイルナンバーは順次繰り上がります。

値	動作
YES	上書きする
NO	上書き禁止

工場出荷時設定:YES

- 注意**
- 上書き時のデータ消去はファイル単位なので、連続で長時間録画している場合には、消去される範囲も多くなります。
 - 消去された録画ファイルに含まれるアラームも、アラーム履歴から削除されます。
(29ページ 1-2.アラーム履歴 参照)

設定画面の詳細説明

4-8.区切り

連続して録画をおこなった場合、設定した区切り時間ごとにファイルが区切られます。

値	動作
6	6 時間区切り
12	12 時間区切り
24	24 時間区切り

工場出荷時設定:12

- 注意**
- 連続録画のファイル(6/12/24 時間区切り)の切換え時は瞬間的に録画枚数が 1(枚/秒)となり、直ぐに設定された録画枚数 30/15/10/4/2(枚/秒)に戻ります。
 - 録画中は“録画”画面のすべての設定をおこなえません。

5.アラーム

アラームの設定をおこないます。
動き検出と外部(後付け)センサ共通の設定です。

アラーム

- ▷ 1. 入力接点-----閉(N. O)
2. 保持時間-----005 秒
3. 解除後動作-----前画面
4. 戻る

5-1.入力接点

センサ入力の接点の閉/開を設定します。

値	動作
閉(N. O)	ノーマル オープン センサ等が閉じたとき(立下りエッジで)入力
開(N. C)	ノーマル クローズ センサ等が開いたとき(立上りエッジで)入力

工場出荷時設定:閉

※アラーム信号のパルス幅は 34msec. 以上、パルス間隔は 500msec.以上としてください。



※入力接点-----閉(ノーマル オープン)の場合

5-2.保持時間

アラーム入力がなくなってから、アラーム動作を保持する時間(005~999 秒)を設定します。
アラーム動作を即座に解除したい場合は、1~4 ボタン, 田 ボタンのいずれかを押します。
工場出荷時設定:005 秒

5-3.解除後動作

アラーム動作保持期間解除後の表示チャンネルを設定します。

値	動作
前画面	アラーム入力以前の表示チャンネル(単画面 1~4/分割画面/自動切換え画面)に戻る
そのまま	アラーム入力のあった表示チャンネルのままとする

工場出荷時設定:前画面

設定画面の詳細説明

6.動き検出

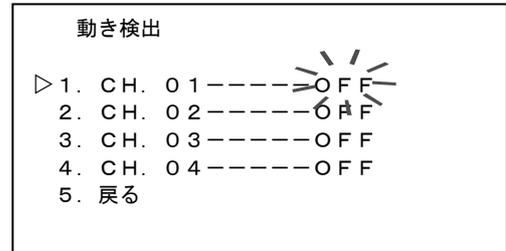
動き検出感度や動き検出位置を設定します。

- 6-1.CH.01
 - 6-2.CH.02
 - 6-3.CH.03
 - 6-4.CH.04
- } 共通

- ① 感度と検出位置を設定したいチャンネルをカーソル▷で選択し、決定ボタンを押すと感度の値が点滅します。
 ↓,↑ボタンで値を変更します。

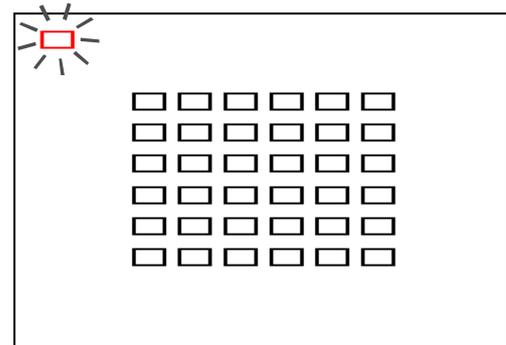
値	感度
OFF	無効
低	低 ↑↓ 高
中	
高	

工場出荷時設定:全チャンネル OFF



- 値を OFF に設定した場合は“動き検出”画面のままなので、他の設定したいチャンネルについても設定をおこないます。
- 値を高/中/低のいずれかに設定した場合は②に進みます。

- ② 感度の値を変更し決定ボタンを押すと、検出位置設定画面が表示されます。
 左上に赤い □ が点滅表示していますので、←,→,↑,↓ボタンで点滅を移動させ、検出したい位置で決定ボタンを押すと、 が表示されます。
 を消す場合も、赤い □ の点滅をその場所に移動させ、決定ボタンを押すと、 が消えます。



- ※ 検出可能な場所は(縦10×横10=)100ヶ所です。
 工場出荷時設定では画面中央部 36ヶ所が設定されています。
- ※ 感度 OFF の場合は検出位置設定画面は表示されません。

- ③ 設定ボタンを押すと“動き検出”画面に戻ります。

他のチャンネルについても①～③を繰り返して設定をおこなってください。



- 注意**
- カメラ入力のないチャンネルはかならず OFF に設定してください。
 - 速い動きや小さな対象物の場合、検出できないことがあります。
 - 光が射し込んだときなどにもセンサが働くことがあります。
 - 設定後は設置した場所にてかならず動作確認をしてください。

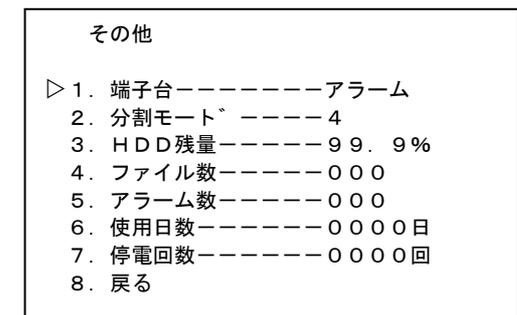
7.その他

7-1.端子台

本体背面のリモート/アラーム信号入力端子の使用機器を設定します。

値	動作
アラーム	アラーム センサ機器などを接続して使用
リモート	リモート機器などを接続して使用

工場出荷時設定:アラーム



※ リモートとして使用する場合は 4 つの接点を同時に閉じると分割画面になります。

設定画面の詳細説明

7-2.分割モード

ライブモード時の分割画面の分割数を設定します。

値	動作
4	4分割
2	2分割

工場出荷時設定:4

7-3.HDD 残量

ハードディスクの空き容量を%表示します。設定はできません。

上書きする設定になっている場合は、0%になると古い録画ファイルから順次消去され、新しい録画ファイルが上書きされ、ファイル履歴のファイルナンバーは順次繰り上がります。

上書き禁止の設定になっている場合は、1.0%未満になると“まもなくデータフル”のメッセージが表示され、0%になると“データフル”のメッセージが表示され、録画が停止します。

7-4.ファイル数

録画ファイルの数を表示します。設定はできません。

録画できるファイル数は256件までです。

上書きする設定になっている場合は、256件を超えると古い録画ファイルから順次消去され、新しい録画ファイルが上書きされ、ファイル履歴のファイルナンバーは順次繰り上がります。

上書き禁止の設定になっている場合は、246件になると“まもなくファイルフル”のメッセージが表示され、256件になると“ファイルフル”のメッセージが表示され、録画が停止します。

7-5.アラーム数

録画中のアラーム数を表示します。設定はできません。

録画中以外のアラーム入力数は数えられません。

記録できるアラーム数は512件までです。512件を超えると古い履歴から順次消去され、アラーム履歴のアラームナンバーは順次繰り上がります。

7-6.使用日数

初回使用時から現在までの使用日数を表示します。設定はできません。

43 ページ ●消耗部品の交換目安についてをご参照になり、交換の目安としてください。

7-7.停電回数

ハードディスクの動作中に停電して復帰した回数を表示します。設定はできません。

ADR-442は録画中停電復帰をおこないます。

7-8.ハードディスクフォーマット

ハードディスクに保存されている録画ファイルおよびアラーム履歴を一括消去します。通常は表示されていない項目です。

“8. 戻る”にカーソル▷を合わせオートボタンを2秒以上押しすると、“HDDフォーマット”の文字が表示されます。

値	動作
NO	消去しない
YES	消去する



その他

- 端子台-----アラーム
 - 分割モード`-----4
 - HDD残量-----00.3%
 - ファイル数-----247
 - アラーム数-----355
 - 使用日数-----0047日
 - 停電回数-----0000回
 - 戻る
- HDDフォーマット⇒YES

注意 ●ハードディスクフォーマットは各種設定の初期化(DEFAULT SET)とは違います。(8 ページ ●工場出荷時設定に戻すには…参照)
●一括消去された録画ファイルおよびアラーム履歴は元に戻すことはできませんので、じゅうぶんご注意ください。

メッセージ一覧表

ADR-442 では、操作をしていると、画面にメッセージが表示されることがあります。メッセージの内容および対処方法については一覧表をご覧ください。

メッセージ	内 容 / 動 作	対処方法
LOCK	ボタン ロックされた状態でボタンが押されたとき表示します	ロックされているボタンのロック解除をおこなえば、“UN LOCK”が表示され、ボタン操作をおこなえるようになります。(15 ページ)
まもなく ファイル フル	録画ファイル数が 246 件を超えると表示します ※上書き録画禁止の場合のみ表示します	<p>一時的にメッセージを消すには設定ボタンを押します。設定画面表示中はメッセージが表示されません。</p> <p>次の対処方法を選択できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上書き録画設定にする(20 ページ) ・ハード ディスク フォーマットする(21 ページ) ・ハード ディスクを交換する(39 ページ)
ファイル フル	録画ファイル数が 256 件になると表示し、録画を停止します ※上書き録画禁止の場合のみ表示します	
まもなく データ フル	録画領域がハード ディスク容量の 1.0%未満になると表示します ※上書き録画禁止の場合のみ表示します	
データ フル	録画領域がいっぱいになると表示し、録画を停止します。 ※上書き録画禁止の場合のみ表示します	
温度エラー	機器内部温度が高くなると表示します	
リード エラー	ハード ディスクからの読み取りがおこなえない場合に表示します。	<p>ライブ モードに戻り、電源スイッチを切って、1 分間ほど時間をおいてから電源スイッチを入れてください。</p> <p>繰り返しメッセージが表示される場合、ハード ディスクの故障などが考えられます。販売店にご相談ください。</p>
ライト エラー	ハード ディスクへの書き込みがおこなえない場合に表示します。	

ハード ディスクの交換方法

■ 空き容量の確認

● ハード ディスク残量の確認

ハード ディスク容量は 120Gbytes となっています。現在のハード ディスク空き容量を確認するには、設定画面の“7. その他”内の“3. HDD残量”にて確認することができます。HDD 残量が 1.0% 未満になったらデータ フル状態に近いので注意が必要です。

● ファイル数の確認

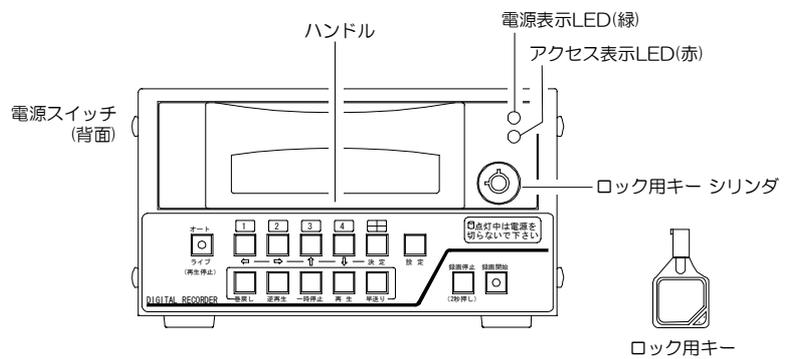
ハード ディスクへの保存ファイル数の上限は 256 件です。現在保存されている件数は、設定画面の“7. その他”内の“4. ファイル数”にて確認することができます。ファイル数が 256 件に近い場合はファイル フル状態に近いので注意が必要です。

その他

- ▷ 1. 端子台-----アラーム
- 2. 分割モード -----4
- 3. HDD残量-----0 1. 0%
- 4. ファイル数-----2 4 6
- 5. アラーム数-----0 5 6
- 6. 使用日数-----0 0 5 1日
- 7. 停電回数-----0 0 0 0回
- 8. 戻る

■ 交換方法

- ① ADR-442 本体の電源スイッチが切っており、アクセス表示 LED(赤)および電源表示 LED(緑)が消灯していることを確認してください。



注意 ● ハード ディスク トレイの抜き差しや、電源スイッチ入操作は電源スイッチを切ってから 1分以上たってからおこなってください。 電源表示 LED やアクセス表示 LED が点灯または点滅している状態では、ハード ディスク トレイの抜き差しを絶対におこなわないでください。

- ② ロック用キーをロック用キー シリンダに差し込み、右に回しロックを解除します。



- ③ ハード ディスク トレイのハンドルを持ち、ハンドルを上げながら手前に引き抜きます。



ハード ディスクの交換方法

④ 交換するハード ディスク トレイのハンドルを上げながらガイド ピンにそって奥まで差し込み、ハンドルを下げます。



⑤ ロック用キーを左に回しロックします。

※電源スイッチを入れた後、念のため設定画面の“7. その他”で交換したハード ディスクの次の項目についてご確認ください。

3.HDD 残量 -----99.9%
 4.ファイル数 -----000
 5.アラーム数 -----000

その他

- ▷ 1. 端子台-----アラーム
- 2. 分割モード -----4
- 3. HDD残量-----99.9%
- 4. ファイル数-----000
- 5. アラーム数-----000
- 6. 使用日数-----0000日
- 7. 停電回数-----0000回
- 8. 戻る

注意 ● 設定画面で設定した内容の一部はハード ディスクに保存されています。交換した際は各種設定内容を確認してください。

■ハード ディスクの録画時間の目安

ADR-442 は録画枚数と画質の設定により、録画できる時間が変化します。

下表は 120Gbytes ハード ディスクの録画時間の目安を表していますので、オプション購入の際またはご使用の際に参考にしてください。

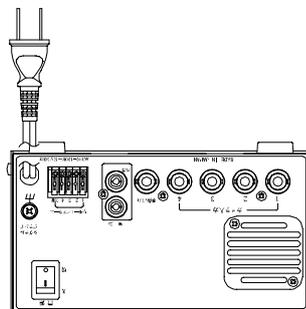
120Gbytes ハード ディスク

録画枚数 音声	録画枚数					
	30 枚/秒	15 枚/秒	10 枚/秒	4 枚/秒	2 枚/秒	1 枚/秒
画質 ()内は圧縮比	あり	あり	あり	なし	なし	なし
高(約 1/10)	30 時間	60 時間	90 時間	225 時間	450 時間	900 時間
	1 日間	2 日間	3 日間	9 日間	18 日間	37 日間
中(約 1/15)	45 時間	90 時間	135 時間	337 時間	675 時間	1350 時間
	1 日間	3 日間	5 日間	14 日間	28 日間	56 日間
低(約 1/20)	60 時間	120 時間	180 時間	450 時間	900 時間	1800 時間
	2 日間	5 日間	7 日間	18 日間	37 日間	75 日間

注意 ● 表中の時間は目安です。使用状況により録画時間が変わることがありますので、ご注意ください。
 ● 表中の時間は総合時間です。カメラ台数は関係ありません。
 ● 録画枚数:1 枚/秒,画質:低,連続録画 6 時間区切りの条件で録画をおこなった場合は、約 1500 時間でファイル フルとなり、表中の 1800 時間の録画はおこなえませんのでご注意ください。

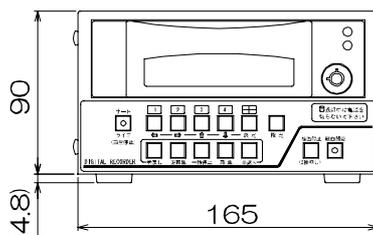
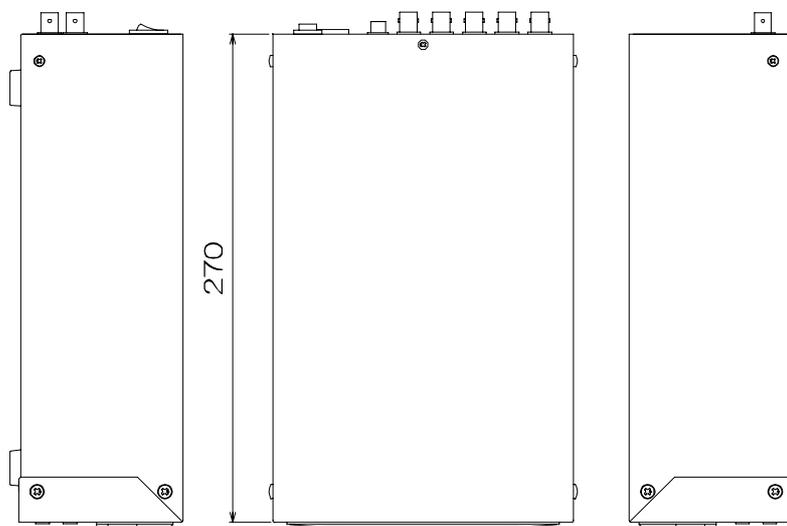
製品仕様

■映像入力	NTSC方式準拠
■カメラ映像入力	VBS,VS 1.0Vp-p 75Ω終端 不平衡 4系統 BNC端子
■モニタ映像出力	VBS 1.0Vp-p 75Ω終端 不平衡 1系統 BNC端子
■音声入力	308mV(rms) 50KΩ終端 不平衡 1系統 RCA端子
■音声出力	308mV(rms) 1KΩ終端 不平衡 1系統 RCA端子
■アラーム入力端子	4系統 端子台(1~4カメラ入力) 無電圧メイク、ブレイク接点(TTLレベル) パルス幅:34msec.以上 パルス間隔:500msec.以上
■モーション センサ	4系統 各チャンネル画面を100分割して検出 検出感度は3段階設定可
■映像出力表示(モニタ出力)	単画面1~4チャンネル,4/2分割画面 1/60リフレッシュ
■オート シークンス	単画面 約001~999秒に可変
■アラーム保持時間	005~999秒に可変
■カメラ番号表示	各チャンネルに表示可能
■ハード ディスク容量	120Gbytes 以上
■録画枚数設定	30,15,10,4,2,1 枚/秒
■録画画質設定	3段階可変
■画像圧縮方式	独自方式(ウェブレット方式に類似)
■周囲温湿度	5~40℃(10~80%RH以下) 但し、結露無きこと
■最大温度変化率	15℃/Hour 以下
■使用可能海拔	-300~3,000m
■電源電圧	AC100V±10% 50/60Hz
■消費電力	約17W
■外形寸法(単位:mm)	165(W)×270(D)×90(H) (ゴム足、突起部除く)
■質量	約2.5kg
■付属品	取扱説明書.....1 クイックガイド.....1 ハード ディスク ケース用鍵.....2 注意書きシール.....1



■オプション

- 交換用ハード ディスク
- ※オプションにつきましては、販売店までお問い合わせください。



故障かなと思う前に…

症 状	確 認 事 項
映像が出ない	<ul style="list-style-type: none"> ●電源ケーブルがコンセントからはずれていませんか ●TVカメラからの映像信号は、入力されていますか ●モニタにモニタ出力が正しく接続されていますか
映像にノイズが出る	<ul style="list-style-type: none"> ●TVカメラの同軸ケーブルは、正しく接続されていますか ●TVカメラの同軸ケーブルの近くに電力線がありませんか
操作がきかない	<ul style="list-style-type: none"> ●ボタン ロック機能がはたらいていませんか
録画ができない	<ul style="list-style-type: none"> ●ハード ディスクがいっぱいになっていませんか ●録画枚数が正しく設定されていますか ●設定画面が表示されていませんか
アラーム入力が正常に動作しない	<ul style="list-style-type: none"> ●ケーブルの配線は、正しく接続されていますか ●配線ケーブルにノイズがのっていませんか ●スイッチ、リレー接点に0.01～0.1μFのセラミック コンデンサを取り付けてありますか
異音がする	<ul style="list-style-type: none"> ●ファン モータにゴミがたまっていますか ●ハード ディスクやファン モータに寿命がきていませんか

修理を依頼されるときは

- 本機が正常に動作しないときは「安全上のご注意」、「故障かなと思う前に…」をもう一度ご覧いただき、なお異常のあるときは、お買い求めの販売店にご連絡ください。
- 修理をお申し付けいただくときは、次のことをお知らせください。

品名： 4入力ハード ディスク レコーダ ADR-442

症状： 設置状態を含め、できるだけ詳細にお知らせください。

品質保証規定

取扱説明書の注意事項に従った使用状態で、ご使用中に発生した故障については、お買い上げの日より1年間、無償にて修理させていただきます。

※本機もしくは接続機器等の不具合により録画・録音されなかった場合、記録内容の補償についてはご容赦ください。

※ハード ディスクの故障等による修理の際は、記録データの再生、修復、復元等はおこなえませんので、ご了承ください。記録内容の補償についてはご容赦ください。

※保証期間内であっても、次の場合有償となる場合がございます。

- ①お買い上げの年月日、および販売店について証明となるものをご提示いただけない場合。
- ②ご使用上の誤り、他の機器から受けた障害、または不当な修理や改造による故障および損傷。
- ③お買い上げ後の移動、輸送、落下などによる故障および損傷。
- ④火災、地震、水害、落雷、その他天変地異のほか、公害、塩害、異常電圧などが原因となって発生した故障および損傷。
- ⑤故障の原因が本機以外にあり、本機に改善を要する場合。
- ⑥付属品などの消耗品による交換。

1日1回は録画状態をご確認ください

連続して録画をおこなう場合は、1日1回は右上の  ハード ディスク アクセス表示LED(赤)が点滅しており、録画動作が正しくおこなわれていることをご確認ください。万が一LEDが点滅していなかったり、モニタ画面上に“ライト エラー”等のメッセージが表示されている場合は、販売店にご相談ください。

おことわり

本機は、その特徴上、犯罪や災害等の監視のためにご使用されるケースが考えられますが、決して犯罪や災害の抑制、および防止器ではありません。

本機もしくは接続機器等の不具合により録画・録音されなかった場合、記録内容の補償についてはご容赦ください。

ハード ディスクの故障等による修理の際は、記録データの再生、修復、復元等はおこなえませんので、ご了承ください。記録内容の補償についてはご容赦ください。

また、本機のご使用方法の誤り、不当な修理や改造のほか、誘導雷サージを含む天災などの被害により発生した事故や、人身事故、および災害、盗難事故による損害については責任を負いかねますのでご了承ください。

● 電源スイッチの入/切について

ADR-442 は、ハード ディスクを使用しております。電源スイッチの入/切には注意してください。

ハード ディスク アクセス表示 LED(赤)およびハード ディスク電源表示 LED(緑)が点灯/点滅しているときには、ハード ディスク ユニットの抜き差しを、絶対におこなわないでください。

電源が不安定な場所でご使用になられる場合は、無停電電源等のご使用をおすすめいたします。

電源スイッチを切るときのご注意

ADR-442 の電源スイッチを切る場合は、ハード ディスク保護のため、かならず次の手順にておこなってください。

1. 右下の録画開始ボタン LED(赤)が消灯していることを確認

点灯している場合は、①録画停止ボタンを2秒以上押し

消灯してください。

次に②一時停止ボタンを押してから③ライブ(再生停止)ボタンを押して

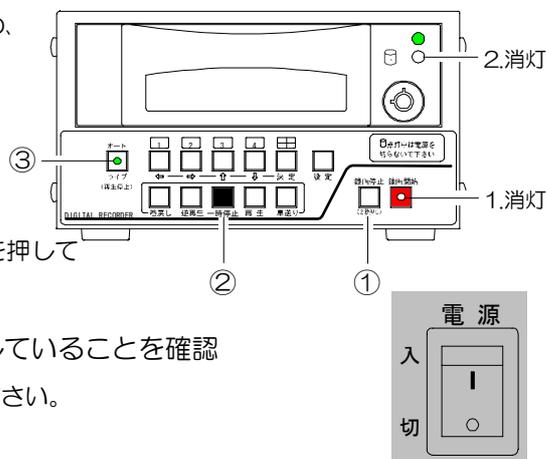
ライブ(再生停止)ボタン LED(緑)を点灯させてください。

2. 右上のハード ディスク アクセス表示 LED(赤)が消灯していることを確認

点灯している場合は、もう一度 1.に戻って確認をおこなってください。

3. 電源スイッチ(背面)を切る

*1,2.が点灯した状態で電源スイッチを切るとハード ディスクの損傷の原因になりますので、かならずお守りください。



● 時計用電池の保護のために…

時計用電池の保護のため、本機に定期的に通電されることをお勧めいたします。

本機の時計回路のバックアップには2次電池を使用しています。長期間通電がおこなわれないうままにしておくと、この2次電池の経年劣化により、次回電源立上げ時に時計のパワーオンリセット回路が正常に動作せず不具合を生じる場合がありますのでご注意ください。

● 消耗部品の交換目安について

本機には、ファンモータやハードディスクといった消耗部品を使用しております。

これらの消耗部品には寿命がありますので、交換目安となる参考時期を記載しております。

設置した環境や使用方法によって寿命は変わりますので、参考時期が近付きましたら、早めに交換することをおすすめいたします。また、交換参考時期は、保障期間ではありませんのでご注意ください。

- ①ハードディスクドライブの交換目安時期 : 約1年
- ②ファンモータの交換目安時期 : 約3年
- ③ハードディスクケースの交換目安時期 : 約5年

2

2分割画面・5, 12, 37

3

30秒補正・11, 31

4

4分割画面・5, 12, 37

AAC入力ケーブル・5
ALARM・29, 35
Auto・5, 13**B**

BUTTON・29, 30

C

CH.・9

D

DEFAULT SET・8

E

ESCAPE・28, 30

F

FILE・30

HH・30, 34
HDD残量・20, 37
HDDフォーマット・21, 37**L**L・30, 34
LOCK・15, 38**M**M
アラームの種類・29
画質・30, 34**P**

PAGE・29, 30

S

S・29

T

TVカメラ台数・9

U

UN LOCK・15, 38

あ空き容量・20
アラーム・35
アラーム オート検索・24
アラーム ナンバー・29
アラーム数・37
アラームの種類・29
アラーム履歴・17, 23, 29
解除・19
解除後動作・35
入力接点・35
ノーマル オープン・35
ノーマル クローズ・35
パルス幅・35
保持時間・35
ライブ モード中のアラーム・13
録画中のアラーム・17
安全上のご注意・2
一時停止・25
一括消去・21, 37
動き検出・18, 36
位置・18, 36
感度・18, 36
無効・18, 19, 36
上書き・10, 20, 34
オート シーケンス・13, 32
オート ボタン・4
おこわり・43
音声出力・15
音声出力端子・5
音声入力端子・5音声録音・21
温度エラー・38**か**開(N,C)・35
外観図・41
解除後動作・35
外部センサ・19
画質・30, 34
カメラ映像入力端子・5
カメラ入力・9
カメラ番号・5, 14, 32
赤色点滅・13, 32
カメラ番号パターン・14
単画面に表示・14, 33
分割画面に表示・15, 33
画面表示・5, 32
カメラ番号・32
黒表示・12
自動切換え時間・32
単画面に表示・33
表示チャンネル・9, 32
分割画面に表示・33
逆コマ送り・25
逆再生・25
逆スロー・25
区切り・17, 35
検索・22, 23, 24, 29, 30
工場出荷時設定に戻す・8
故障・38, 42
コマ送り・25**さ**再生チャンネル・26
再生停止ボタン・4
再生動作の種類・25
再生動作表示・5, 25
再生方法・22
再生モード
設定画面・26, 30
ボタン機能一覧表・25
シール・6
時間
アラーム保持時間・35
検索・22, 29
自動切換え時間・13, 32
日時設定・11, 31
連続録画の時間区切り・35
録画時間の目安・34, 40
シグナル グランド端子・5
時刻・11
自動切換え・13
自動切換え時間・13, 32
ジャンプ・25
仕様・41
使用日数・37
消耗部品の交換目安・43

スキップ・13
スロー・25
製品仕様・41
接続例・7
設定画面の操作方法・28
設定項目一覧表・→ クイック ガイ
ド
設定ボタン・4
前画面・35
前面部・4
その他・37
そのまま・35

た

ダイレクト再生・22
単画面表示・12
端子台・7, 37
チャンネル・9
チャンネル セレクト ボタン・4, 9
注意書きシール・6
停電回数・37
データ フル・38
電源スイッチ・5
電源スイッチ 入・8, 43
電源スイッチ 切・8, 43
電源の切断手順・6
同時録画再生・27
特長・1

な

日時検索再生・22, 29
日時設定・11, 31
入力接点・35
ノーマル オープン・35
ノーマル クローズ・35

は

ハード ディスク
交換方法・39
ハード ディスク トレイ・4, 39
録画時間の目安・40
ハード ディスク アクセス表示 LED
・4
ハード ディスク フォーマット・
21, 37, 38
ハード ディスク電源表示 LED・4
背面部・5
早送り・25
日付・時刻・11, 31
単画面に表示・31
日時設定・11, 31
表示範囲・11, 31
分割画面に表示・32
表示チャンネル・9, 32
表示範囲・31
品質保証規定・42
ファイル ナンバー・30
ファイル フル・38
ファイル送り・25
ファイル消去・21, 37
ファイル数・20, 37
ファイル戻し・25
ファイル履歴・16, 23, 30
ファン モータ用通風孔・5, 38
フィールド録画・34
分割画面・12, 37
分割モード・37
閉(N.O)・35
保持時間・35
ボタン ロック・5, 15, 38
ロック解除方法・15
ロック方法・15

ま

巻戻し・25
まもなく データ フル・38
まもなく ファイル フル・38
メッセージ一覧表・38
モニタ映像出力端子・5

ら

ライト エラー・38
ライブ ボタン・4
ライブ モードの確認方法・12
リアル タイム・12
リード エラー・38
リモート・37
リモート/アラーム信号入力端子・5,
19, 37
接続例・7
履歴検索再生・22, 23, 29, 30
レコーダ再生操作ボタン・4
レジューム機能・8
連続録画・17
区切り・17, 35
録音・21, 34
録画・34
上書き・34
画質・34
録画開始ボタン・4
録画チャンネル・10, 34
録画停止ボタン・4
録画の方法・16
録画枚数・30, 34
ロック・→ ボタン ロック
ロック用キー シリンダ・4, 39

保証書

品名 : ADR-442	本体裏シールのSER. No. (製造番号) をご記入ください No.	
お客様名 : ご住所 〒 TEL:	様	取扱販売店名・住所・電話番号
保証期間	お買い上げ日 年 月 日より 1年間	

Artics

株式会社 アルテックス

住 所 神奈川県相模原市麻溝台 8-22-1
営業部ダイヤルイン 042(742)2110
F A X 042(742)3631
E - M A I L info@n-artics.co.jp
U R L http://www.n-artics.co.jp

